

## 4-2 概算事業費

### 4-2-1 概算事業費

#### (1) 施設の維持管理計画

本計画施設建設に関する日本国政府および比国側負担区分の概要は、4-1-3 施工区分の通りとするのが妥当である。

#### (2) 概算事業費

本計画を日本国の無償資金協力により実施する場合に必要な事業費総額は、約 26.47 億円となり、先に述べた日本国と比国側との負担区分に基づく双方の経費内訳は、下記に示す積算条件によれば次のとおりと見積もられる。

##### 1) 日本国側負担経費

| 事業費区分      | 第1期      | 第2期     | 合計       |
|------------|----------|---------|----------|
| (1) 建設費    | 14.39 億円 | 4.03 億円 | 18.42 億円 |
| ア. 直接工事費   | (11.58)  | (2.90)  | (14.49)  |
| イ. 現場経費    | (0.76)   | (0.63)  | (1.40)   |
| ウ. 共通仮設費等  | (0.56)   | (0.12)  | (0.69)   |
| (2) 機材費    | 5.06 億円  | 0.00 億円 | 5.06 億円  |
| (3) 設計・管理費 | 1.69 億円  | 0.64 億円 | 2.34 億円  |
| 合計         | 21.15 億円 | 4.68 億円 | 25.83 億円 |

2) 比国負担経費 1,631.2万ペソ(約64.58百万円) (内訳は添付資料5-14参照)

|                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| ① 建設用地の整地            | 2.0万ペソ (約0.08百万円)      |
| ② 取付け道路建設費           | 570.0万ペソ (約22.57百万円)   |
| ③ 電気・水道・電話引込費および井戸掘削 | 67.9万ペソ (約2.68百万円)     |
| ④ 一般家具と備品            | 120.0万ペソ (約4.75百万円)    |
| ⑤ 銀行取決め手数料           | 75.0万ペソ (約2.97百万円)     |
| ⑥ 建築許可申請料            | 11.9万ペソ (約0.47百万円)     |
| ⑦ 通関手数料              | 34.4万ペソ (約1.36百万円)     |
| ⑧ 開所前人件費(1997年分)     | 750.0万ペソ (約29.70百万円)   |
| 合計                   | 1,631.2万ペソ (約64.58百万円) |

3) 積算条件

- |           |  |
|-----------|--|
| ① 積算時点    | 平成8年6月(基本設計調査報告書提出月もしくはその前月)                         |
| ② 為替交換レート | 1US\$( $\text{£}$ 等の基幹通貨) = 104.00円<br>1現地通貨 = 3.96円 |
| ③ 施工期間    | 2期による工事とし、各期に要する詳細設計、工事(または機材調達)の期間は、施工工程に示したとおり。    |
| ④ その他     | 本計画は、日本国政府の無償資金協力の制度に従い、実施されたものとする。                  |

4-2-2 維持管理計画

(1) 施設の維持管理計画

1) 建物

建物の維持管理に於いては、日常の清掃の実施、磨耗・破損・老朽化に対する修繕、安全性と防犯を目的とする警備の3点を中心とする。

日常の清掃の励行は使用者の態度に好影響を与え、施設の扱いも丁寧になる。さらに職

業訓練施設としての清潔度を保持するためにも重要である。又、破損・故障の早期発見と初期修繕につながり、設備機器や教育機材の寿命を確実に延ばすことにもなる。

修繕については構造体を守る内外装仕上材の補修・改修が主体となる。さらに、活動内容の変更やスタッフ増加等による改装・改築の必要性は日本の過去の事例をもととすると、10年単位で生じることと予想される。建物の寿命を左右する定期点検と補修についての細目は、施設引渡し時にメンテナンス・マニュアルとして提出されるが、その概要については下記の通りである。

表 4-2-1 建物定期点検の概要

|                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| <b>(外部)</b>          |                   |
| • 外装の補修・塗替え          | (1回/5年)           |
| • 屋根版の補修・塗装・点検       | (点検1回/年、その他1回/5年) |
| • 屋根防水の部分補修・点検       | (点検1回/年、その他随時)    |
| • 桶・ドレイン廻りの定期的清掃     | (1回/月)            |
| • 外部建具廻りシールの点検・補修    | (1回/年)            |
| • 外部建具の塗装            | (1回/5年)           |
| • 側溝・マンホール等の定期的点検と清掃 | (1回/年)            |
| • 造園・植栽の定期的管理        | (随時)              |
| <b>(内部)</b>          |                   |
| • 内装の変更              | (随時)              |
| • 内部壁の補修・塗替え         | (随時)              |
| • 内部天井材の貼りかえ         | (随時)              |
| • 建具の締まり調整・建具金物の取り換え | (1回/年、その他随時)      |

警備については施設利用者の出入りのチェックが肝要である。さらに教育・訓練用機材等の盗難防止についての警備体制も重要である。

## 2) 建築設備

建築設備については、日常の運転管理・定期点検の他、故障修理・部品交換などの維持管理が必要である。設備機器の寿命は運転時間に加えて、正常操作と日常的な点検・給油・調整・清掃・補修などにより確実に延びるものである。さらに故障や事故の発生を未然に防止し、建物本体に悪い影響を及ぼすことなく、又、施設の安全性に努める必要がある。定期

点検では、メンテナンス・マニュアルにしたがって分解整備・消耗部品の交換等を行う。

管理者は、設計上の系統区分・容量・システム等を熟知し、事故の発生を未然に防ぐ体制とする必要がある。そのための保守要員としては、電気・空調換気・給排水衛生・特殊設備の各系統に通じた技術者を常駐させる必要がある。さらに設備機器の据付・調整段階から現場で研修を受け、引渡し時まで設備の仕組みを熟知しておくことが肝要である。運転・管理・マニュアルについては、施設引渡し時に提出されるが、主要機器の一般的な耐用年数については、下記の通りである。

表 4-2-2 設備機器の耐用年数

|              |                  |
|--------------|------------------|
| (電気関係)       |                  |
| • 発電機        | (15～20年)         |
| • 発電盤        | (20～30年)         |
| • 蛍光灯        | (5,000～10,000時間) |
| • 白熱灯        | (1,000～1,500時間)  |
| • 電話交換機      | (40年)            |
| • 拡声放送機器     | (10～20年)         |
| (給排水設備)      |                  |
| • ポンプ類、配管・弁類 | (10～15年)         |
| • タンク類       | (15～20年)         |
| • 衛生陶器       | (25年)            |
| • 消化器具       | (20年)            |
| • ガス器具       | (6年)             |
| • 汚水処理装置     | (7年)             |
| (空調設備)       |                  |
| • 配管類        | (10～15年)         |
| • 送風機        | (10～15年)         |
| • 空調器        | (5～10年)          |

## (2) 機材等の維持管理計画

### 1) 機材

機材の維持管理は本計画施設の活動を円滑に行う上で大変重要な要素の一つである。ことに分析機器は精密部品から構成されており、破損しやすいもの、温度・湿度など周辺環境の影響を受けやすいもの、又、振動・衝撃に弱いものが多く、計画的な維持管理が必要である。

一般に機材の維持管理には機材を使用する担当者レベルでの日常点検と専門的知識や技術を持った技術者による故障時の緊急点検、年1～2回程度の定期点検がある。

日常点検は内部の職員のうちから各機材の担当を決め、担当者の責任においてマニュアルの点検項目と頻度に基づき実施する必要がある。

以下に各種機材の維持管理の概要を示す。

表 4-2-3 機材の維持管理の概要

| 機材     | 機材の代表例    | 内部管理        | 外注委託     |
|--------|-----------|-------------|----------|
| 測定機器類  | サウンドスコープ  | 清掃常時、点検1回/年 | 故障時、1回/年 |
| 訓練用機器類 | ボール盤、ミシン類 | 清掃常時、点検1回/年 | 故障時、1回/年 |
| 視聴覚機器類 | A/V機器     | 清掃常時、点検1回/月 | 故障時、2回/年 |
| 印刷機器類  | コピー       | 清掃常時、点検1回/週 | 故障時、1回/年 |

## 2) 消耗品、訓練実習用教材類

本計画施設で必要な消耗品、訓練実習用教材類の在庫管理は担当学科と管理部門の連携のもと実施しなければならない。各担当講座ではこれらが適正に使用されているか在庫数を確認し、管理部門では各部門に対する円滑な供給と計画的な業者・代理店への発注・調達が必要である。

## (3) 維持管理費試算

本施設の完成引渡し後、比国側で必要とされる維持管理費について試算する。支出項目は、人件費、施設運転経費、施設・設備維持費に分類した。尚、NEDAによる年間物価上昇率は7%で見込まれている。

### 1) 人件費

要員計画に基づき、採用される主なスタッフは1997年4月から採用される。先方国の給与基準に基づき必要人件費を算出する。

## 2) 施設運転経費

水道・電気・ガス・電話・ガソリン等の使用量につき、日常的な利用負荷を想定し、そして訓練用教材、研究開発・啓蒙活動費用等については年間の運転経費を試算すると、およそ5,628,000P/年となる。主な支出項目の概算を下に示す。

### ①水道料金

給水源が井水のため水道料金はかからない。ただし施設の維持管理費用として、井水用ポンプのメンテナンス費用が必要となるため、これらを盛り込むこととする。

### ②電力料金

#### • センター棟

##### a) 月間電力使用量

$$400\text{kw} \times 20(\text{days}) \times 7.0(\text{hrs}) \times 0.7 = 39,200\text{kwh/月}$$

##### b) 電力料金計算方式

###### i) 基本料 Basic Fee

$$39,200\text{kwh/month} \times 0.970 (\text{力率割引}) \times 2.385\text{p} = 90,687\text{p/月} \dots\dots\dots (1)$$

###### ii) 加算料金

###### • デイマンド料金

$$400\text{kw} \times 25.00\text{p/kw} = 10,000\text{p} \dots\dots\dots (2)$$

###### • エネルギー料金

$$39,200\text{kwh} \times 0.62\text{p/kwh} = 24,304\text{p} \dots\dots\dots (3)$$

###### • 割引

$$(10,000\text{p} + 24,304\text{p}) \times 0.29 = \blacktriangle 9,948\text{p} \dots\dots\dots (4)$$

###### iii) CERA

$$[(2)+(3)+(4)] \times \blacktriangle 0.0152 = \blacktriangle 370\text{p} \dots\dots\dots (5)$$

$$\text{月間電力料金 } (1)+(2)+(3)+(4)+(5) = 114,673 \quad \approx 115,000\text{P/月} \dots\dots\dots (6)$$

$$\text{年間電力料金 } (6) \times 12 = 1,380,000\text{p/年}$$

• 宿舎棟

a) 月間使用量

$$150\text{kw} \times 20(\text{days}) \times 5(\text{h}) = 15,000\text{kwh}/\text{月}$$

b) 電気料金計算方式

i) 基本料

$$15,000\text{kwh} \times 1.0 \times 2.342\text{p} = 35,130\text{p}/\text{月} \dots\dots\dots (1)$$

ii) 加算料金

• デイマンド料

$$150\text{kw} \times 25.00\text{p}/\text{kw} = 3,750\text{p} \dots\dots\dots (2)$$

• エネルギー料

$$15,000\text{kwh} \times 0.67\text{p}/\text{kwh} = 10,050\text{p} \dots\dots\dots (3)$$

iii) CERA

$$13,800 \times \blacktriangle 0.0152 = \blacktriangle 209\text{p} \dots\dots\dots (4)$$

$$\text{月間電力料金 } (1)+(2)+(3)+(4) = 48,721\text{p} \doteq 49,000\text{P} \dots\dots (5)$$

$$\text{年間電力料金 } (5) \times 12 (\text{months}) = 588,000\text{p}/\text{年}$$

③ガス料金

ガスはLPGガスボンベ50kgを使用する。センター棟のガス使用箇所はキャンティーン厨房、職訓部門のホテル/レストラン分野厨房、陶器分野の陶器釜などである。ここでは施設運転に関する訓練部門のみの使用量を想定した。

$$150\text{kg}/\text{日} \times 200 \text{日}/\text{年} \times 14\text{p}/\text{kg} = 420,000\text{p}/\text{年}$$

④電話料金

センター棟に通話用6回線FAX専用1回線、インターネット用1回線宿舎棟に通話用2回線 合計10回線を想定。

基本料 (市内電話はこの料金にて何度数でも使用可)

$$P537 \text{回線} \cdot \text{月} \times 10 \text{回線} = 5,370\text{p}/\text{月}$$

市外への電話/FAXを8,000p/月と想定

年間使用料

$$13,370\text{p}/\text{月} \times 12 \text{ヶ月} = 160,440\text{p}/\text{年} \quad \text{改め } 160,000\text{P}/\text{年}$$

### ⑤ガソリンとオイル類

供与される車輛は訓練生をOJTのための送迎用30人乗りマイクロバス1台、訓練資機材運搬用ピックアップ1台、調査研究、啓蒙のため各NGO他関連機関との連絡用ワゴン車輛1台、職訓スペースでの資機材搬送用フォークリフト1台の計4台である。

それらのガソリン消費量は下記のようになる。

|    |  |            |
|----|--|------------|
| a. | マイクロバス (ディーゼルタイプ)  |            |
|    | $1(\text{bus}) \times 300 \text{ liters/mon} \times 7.3 \text{ p/liter} \times 12 \text{ month} =$     | 26,280p/年  |
| b. | ピックアップ (ガソリンタイプ)   |            |
|    | $1 \text{ pick up} \times 250 \text{ liters/mon} \times 9.5 \text{ p/liter} \times 12 \text{ month} =$ | 28,500p/年  |
| c. | ワゴン(ガソリンタイプ)   |            |
|    | $1 \text{ wagon} \times 250 \text{ liters/mon} \times 9.5 \text{ p/liter} \times 12 \text{ month} =$   | 28,500p/年  |
| d. | フォークリフト (ガソリンタイプ)  |            |
|    | $1 \text{ forklift} \times 50 \text{ liters/mon} \times 9.5 \text{ p/liter} \times 12 \text{ month} =$ | 5,700p/年   |
| e. | 発電機  |            |
|    | $1 \text{ 発電機} \times 300 \text{ liters} \times 7.3 \text{ P/liter} \times 12 \text{ month} =$         | 26,280P/年  |
| f. | エンジンオイル他   | 25,000p/年  |
|    | 合計   | 140,260p/年 |
|    | 改め   | 140,000p/年 |

### ⑥訓練用教材 他

$$1,440 \text{ 名} \times 1,000 \text{ p/名} = 1,440,000 \text{ p/年}$$

### ⑦研究開発および啓蒙活動経費

|          |                |              |
|----------|----------------|--------------|
| 調査研究1課題  | p150,000×3課題/年 | 450,000p/年   |
| 研究成果の発表等 |                | 300,000p/年   |
| 啓蒙活動費    |                | 750,000p/年   |
|          |                | 1,500,000p/年 |



### 3) 施設・設備維持費

#### ① 施設維持費

建物修繕費は経年により大きく変化するが、30年スパンでみた年平均修繕費を50p/m<sup>2</sup>と推定し試算する。

$$50\text{p/m}^2 \cdot \text{年} \times 13,117\text{ m}^2 = 655,850\text{p/年}$$

#### ② 設備機器維持費

設備補修費は竣工後5年程度は少ないが、それ以後は部品交換や機器交換が必要となる。10年スパンでみた年平均補修費を、設備工事費の0.5%程度と推定すると700,000p/年となる。

#### ③ 機材維持費

活動状況により変化するが、OMSDの維持費より想定すると、500,000p/年となる。

本計画の施設、機材計画は、可能な限り維持管理費が低減できるよう配慮されている。また、各種機材の主要な予備品にも考慮するほか、極力現地で調達可能な資機材を選択するなど、修理、維持管理を踏まえた計画としている。したがって、先方予算により維持管理は可能と考えられる。

### (4) プロジェクトによる収入

本センターの運営は可能な限り自己運営できるよう計画されるのが望ましい。TESDAは政府機関の1機関ではあるが、TESDAが得た収入はTESDAの運営費として使うことが許されているため、その収入を増やす経営感覚が求められる。たとえば、職業訓練運営費の創出にあたっては、実習収入をあげ、運営費の一部を創り出す方を考慮することが重要である。具体的には、訓練課題の設定にあたっては次のことを考慮し、訓練を通して実習収入をあげる。

- 1) 各訓練分野の訓練内容にあわせて訓練課題を設定する場合、市場で売れるものを取り入れて、訓練の特色を活かした課題を構築し、訓練の中で実施する。訓練課題(製作品)については、展示コーナーへ展示することによって、訓練内容、訓練レベルのPRをし、あわせて販売をしていく。

- 2) 企業の生産現場で生産されている部品の中で訓練課題として適切なものを選定し、部品の委託加工を企業等から請け負い、訓練の中で実施して実習収入をあげる。
- 3) 多目的ホールにおいて訓練展示会を開催し、本センターで実施している訓練活動をPRするとともに、訓練生が作った訓練課題(作品)の展示と即売会を実施する。

現在 TESDA が計画している本センターでの職業訓練、コンサルテーション、施設の貸出、出版、訓練作品の販売等による収入は表4-24 NVIDCW の収入に示す通り。ただし、この収入金額は、本センターで実施される活動をすべて金額に換算したものであり、実際は訓練生により受講料や寄宿料が免除されたりするため、運営費としてどの位の額が使えるか未定である。

表4-24 NVIDCW のプロジェクトによる収入(予測)

| 収 入         | 内 訳                                   | 金額(ペソ)     |
|-------------|---------------------------------------|------------|
| A: 料金       |                                       | 6,399,040  |
| 1. 訓練受講料    |                                       | 2,655,040  |
|             | 職業訓練指導員養成コース(20ヶ月)<br>12,000P/年・人×72人 | 864,000    |
|             | 就職準備訓練(平均4ヶ月)<br>2,000P/人×248人        | 496,000    |
|             | 技能向上訓練(1~2ヶ月)<br>3,000P/人×376人        | 1,128,000  |
|             | 訓練技法訓練(80時間)<br>240P/人×144人           | 34,560     |
|             | 非技能訓練(24~80時間)<br>(144~384P/人)×600人   | 132,480    |
| 2. コンサルタント料 | 240日×40%×250P/時×8(時間)<br>×39(指導員)×50% | 3,744,000  |
| B: 施設使用料    |                                       | 3,732,000  |
| 1. 寮        | 160(床)×90(%)×100P/日×240(日)            | 3,456,000  |
| 2. 多目的ホール   | 5日/月×4,000P×12(M)                     | 240,000    |
| 3. 職訓作業場    | 3,500P×2週×12(M)                       | 36,000     |
| C: 販売       |                                       | 125,000    |
| 1. 出版書籍     | 300コピー×150P                           | 45,000     |
| 2. 訓練作品     | 10,000P/バッチ×8(平均8バッチ)                 | 80,000     |
|             | 合 計                                   | 10,256,040 |

出典: TESDA

## 第5章 プロジェクトの評価と提言

## 第5章 プロジェクトの評価と提言

### 5-1 妥当性にかかる実証・検証および裨益効果

#### (1) 裨益効果

ラモス政権は、慢性的な財政赤字や貿易赤字是正のために、経済再建策として「中期開発計画」に基づく「国家人的資源開発計画」(93-97)の策定により、人材育成、国際競争力確保の強化を推進している。しかし、就業機会の不足による失業率の増加や所得格差(貧困問題)等の社会問題は深刻である。特に、就業技能修得のアクセスが限られていることなどから、女性をめぐる雇用機会は限られており、女性の能力・適性は、十分に発揮されてはいない。そのため現在、比国には約100万人の女性未就労者(比国ファクトブック1992)がいると推計されている。

この状況を改善するため、職業訓練機能だけでなく、女性の経済的・社会的地位の向上を目的に、調査研究・啓蒙活動も取り込んだ女性総合センターを設立し、比国の経済開発を促進するような女性の能力・適性を活用した人材育成をすることが必要である。本センターの全訓練コースにおける年間受講者総数(一次受益者)は、最大で1,440名が可能である。これらの訓練修了者が、比国全国の職業訓練所、工業学校、民間企業等で指導あるいは業務を開始することにより、その指導を受ける二次受益者の総数は約120,000名/年と想定される(添付資料5-13参照)。本センターが利用され、できるだけ多くの女性未就労者(無技能者)をなくすためには、本センターの存在だけでなく、活動内容等を調査研究・啓蒙活動、NGOネットワーク等の広報機能を使い、広く人々に知らせる必要がある。これにより本センターの存在および活動内容を知った女性が、本センターを利用し、何らかの技術・技能訓練あるいは非技能教育を受け、就業斡旋室からの情報にて、就職活動を活発に行い、就職が可能になれば、多くの女性が経済社会活動に参加することになり、女性の社会的・経済的地位の向上につながる事が期待される。

また、調査研究・啓蒙活動により本センターの活動内容が広く社会に知られることにより、行政側だけでなく、民間部門でも多くの女性労働者、職業訓練指導員、スーパーバイザー等が社会参加する道が開かれ、ジェンダー意識の高揚と、女性の地位向上に寄与すると期待される。以上の点から、本計画を比国で行う効果としては、以下の点が挙げられる。

### 1) 女性の社会進出への拠点を創設

本センターが、国内外の種々の組織とのネットワークを通じ活動を推進すれば、本センターは女性の地位向上のための社会的な諸問題を解決する、新しい活動拠点と成り得る。そして本センターがこれらの活動の軸となることで、その活動の範囲はマニラ首都圏のみならず、比国全土、アセアン諸国およびアジア太平洋諸国との連携を通じ、交流を活発に行う事により、本センターは、女性の地位向上と言った研究の活動拠点になり得ると考えられる。

### 2) 女性の開発への参加促進と受益確保

直接的に女性を職業訓練の対象とすることで、女性の開発への参加を促進し、就業機会の拡大を図り、女性を取り巻くジェンダー意識の改善および女性をめぐる社会的な諸問題(出稼ぎ、貧困、賃金格差等)の解決にも寄与する事が可能となる。また、調査研究・啓蒙活動を通じ、ジェンダー配慮社会の育成に貢献することにより、多くの女性の社会経済活動への参加が促進される。そして、これまで過小評価されていた女性の潜在能力の活用を通じ、社会経済面において女性の相対的地位の向上にも寄与し得る。

### 3) 持続的な経済社会の発展

比国女性に対し非伝統産業分野を含め幅広い職業訓練を実施することは、企業にとっては安定した技能労働者の確保につながり、女性にとっては就業機会が拡大するばかりでなく、同国の産業育成と安定的な経済発展にも寄与し得る。また、調査研究部門において女性労働需要調査や職業能力開発手法の研究活動が促進されれば、市場動向に合致した技能訓練が可能になり、また女性に適した職能の開発など、効率的で持続的な経済社会の発展が期待される。

## (2) 妥当性の検討

比国政府の要請の内容を TESDA と協議するとともに、現地調査および国内解析を行い、計画の内容をとりまとめた。その内容に沿って「女性職業訓練センター建設計画」の施設建設および機材供与計画を実施する事の妥当性を、財政・運営維持管理体制の面から検討したところ、以下のように問題なく実施できることが確認された。

## 1) 財政面について

比国政府は、比国経済の発展には、女性の社会的・経済的地位の向上が不可欠との考えにより、ラモス大統領就任後発表された「中長期開発計画（1993-1998）」およびジェンダー配慮開発フィリピン計画（1995-2025）」には、比国全土の政府機関、省庁、局、事務所において、計画立案、実施スケジュール、予算計画において Gender and Development (GAD) の考え方を導入するというものである。そして予算面ではすべての政府機関において、総予算の5%をGADのための予算配分を行うことがすでに政府決定されている。

かかる経緯から、TESDAでは本センターをGADの考えに基づく、女性のための職業訓練センター、調査研究、啓蒙機関としてのモデル施設として位置づけ、女性技能者を育成することにより女性の雇用機会拡大、収入の増加、社会参加の推進、そして男女平等の確立を通し、女性の地位向上を最大の目標としている。

このためTESDAはすでに国家経済開発庁 (NEDA) に対し、本センター設立に関し必要となる比国側負担工事費用並びに施設竣工後の運営維持管理費について予算計上しており、予算計画の実施に全面的な協力の姿勢を示している。

このため施設完成後の予算確保については問題がないと考えられる。

## 2) 維持管理体制

本計画の施設、機材計画は、可能な限り維持管理費が低減できるよう配慮されており、また、各種機材の主要な予備品は本センターに隣接した OMSD の維持費により想定したところ、機材調達費の0.1%程度で確保するなど、施設完成後の維持管理が容易に行えるよう計画されている。機材の選定にあたっては、修理・維持管理を考慮し、可能な限り比国内での調達を行っている。

TESDA は比国全土に約 1,500 もの職業訓練施設を有し、そこで教える職業訓練指導員は数千名で構成されている。このため職業訓練機材の維持管理には長年の経験を有しており、問題はないものと判断される。また、本センターの職業訓練分野の関連機材選定にあたっては、比国人技術者が維持管理を行えることを前提にしており、短期間での研修で有効な維持管理が可能となると思われ、維持管理上の問題はないと判断される。

### 3) 運営体制

本センター開所時は68名のスタッフにより運営される計画である。このうち、主たるスタッフはTESDA内部の人事異動にて充当される予定である。また、現在TESDAで実施していない調査研究、啓蒙活動分野ではTESDA内部からの人材の確保ができないため、外部より条件を満たす経験者を、本センターの引き渡しを受ける1年前より採用し、竣工後直ちに活動ができるよう準備を進める計画をしている。この分野は、NCRFW、大学の女性研究機関、NGOなどから協力を受けながら共同で研究活動を行う計画であり、この分野の人材はこれら協力機関の推薦、紹介により確保できると考えられる。調査研究、啓蒙分野には個別専門家派遣の技術協力が計画されており、この専門家との協力により活動が実施できると考えられる。

また、TESDAでこれまで実施していない職業訓練分野（農産品加工、製陶、宝飾）の指導員の採用は、一般公募とこれらの学科を持つ工科系大学およびこれらを職業としている民間企業などからの推薦、紹介により確保する計画である。

本センターの運営体制は、引き渡しを受ける1年前に確立し、準備作業を開始する計画であり、そのための運営予算請求を既に行っていることから、施設、機材の引き渡し時点で取り扱い説明等も直接の担当者に行えるため、引き渡し後の運営体制の問題はないと判断される。

本計画は単に施設の建設および機材の供与だけでなく、女性技能者の育成を通し、比国入女性の社会的、経済的地位の向上を目指す計画である。これにより比国の国家開発計画を支援し、同国政府の経済発展に寄与するものであることから、本計画を日本政府の無償資金協力で実施することは、極めて妥当であると判断される。さらに本計画の運営・管理体制についても、人員・資金面ともに確保される見通しがあり、特に問題はないと考えられる。

### 4) ニーズ調査の結果

基本設計調査で実施したアンケートによる調査の結果、女性の意識調査(750人)では、自動車、電子、金属といった非伝統的職種の理解度は低いものの、この分野の職業訓練へは相対的に高い受講意欲(25%)を示しており、将来雇用機会が拡大すれば関心も着実に高まると予測される。企業調査(48社)では、女性従業員の能力開発を実施する企業が約60%に達し

ており、十分な技能・経験のある女性を採用したい企業(75%)から、全体的に女性の雇用・能力開発への積極的な姿勢が伺われる。NGO調査(32団体)では、女性への職業訓練の必要性に高い反応があり、女性の雇用と所得向上のために非伝統的職種への訓練機会拡大への考えが見られた。海外就労者調査(108人)からは、帰国女性が希望する支援プログラムとして職業訓練・起業支援であることが判明した。

同時に実施された関連企業への聞き取り調査(10社)でも、女性の適応力と定着性を高く評価し、技能・経験のある女性であれば採用したいとの回答が多かった。また、本センターでの職業訓練・技能向上訓練への従業員の参加や、訓練生のOJT受入れについても積極的な回答を得た。

これらを総合すると、訓練生の供給面から、教程・施設の条件整備や奨学金制度などのインセンティブが整えば、伝統的・非伝統的職種の双方とも問題がなく、企業の需要面からも知識・能力を備えた女性の雇用機会は大きく、従業員の再訓練にも積極的であり、訓練内容と企業側ニーズとの整合が保たれば、本計画の実施に問題がないと判断される。



## 5-2 技術協力

TESDA は、国際競争力に見合う技術教育・技能開発プログラムをより市場志向(market-oriented)で実践的な職業訓練がおこなわれるために新しく設立された政府機関である。民間諸機関および企業との補完関係のもとに社会的なコスト負担の観点から職業訓練が適正に行われるよう期待されている。以上のような TESDA が有する目的とともに、本計画の目的である女性の就労促進、職域拡大、WID/GAD の社会意識向上の具体化のために、本計画施設を有効に活用し、最大限の援助効果を引き出すために、効果的と思われる技術協力として、下記の方法が考えられる。

### (1) 連携型援助 - JICA 専門家、青年海外協力隊、民間の活用

JICA 専門家、青年海外協力隊、民間の活力と NGO のやる気を生かし、また、技術協力に対して熱意のある連携型援助のチームを組む必要がある。民間諸機関および企業との補完関係のもとに社会的なコスト負担の観点から職業訓練が妥当におこなわれるためにも、民間ベースの発想と運営能力を有した人材をセンターの総括的な位置に置くことも考えるべきであろう。

#### (a) 職業訓練

本センターでは、訓練機材の選定に当たり、基本的には自己運営が可能な機材を選択しており、職業訓練部門では技術協力が無くとも運営ができるよう配慮してある。

しかし、TESDA において、経験が不足している訓練分野については、短期間の専門家の派遣や現地指導員の日本での研修を行うことによって、より効果的な運営ができるものと思料される。

#### (b) 調査研究・啓蒙活動

TESDA 側からは、個別派遣 JICA 専門家が調査研究および啓蒙活動に対してそれぞれ一名ずつ要請がでている。TESDA からは、今後の長期・短期計画策定、地方拠点との連携による活動、第三国共同調査研究および交流のためには、個別派遣 JICA 専門家との協力を得て、NGO を巻き込み実施したいとの要望が出ている。表 5-2-1 は、JICA 専門家による調査研究・啓蒙活動に対する技術協力の一例である。

表 5-2-1 JICA 専門家による調査研究・啓蒙活動に対する技術協力例

|      | フェーズⅠ(2年間)  | フェーズⅡ(2年間)   | フェーズⅢ(2年間)   |
|------|---|--|--|
|      | 準備/立ち上げ   | 活動強化   | 自立機能強化   |
| 調査研究 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究長期・短期計画策定</li> <li>・リソースセンター準備</li> <li>・調査活動計画準備/実施</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方拠点との連携による調査研究</li> <li>・第三国共同調査研究および交流</li> <li>・リソースセンター充実化</li> <li>・調査活動計画継続実施</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査活動計画継続実施</li> <li>・職業訓練機能等の評価調整</li> <li>・センタープログラムの評価調査/自立機能強化への提言</li> <li>・各関連機関との連携強化</li> </ul> |
| 啓蒙   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓蒙計画策定</li> <li>・広報活動計画策定</li> <li>・リソースセンター準備</li> <li>・啓蒙活動準備/実施</li> <li>・広報活動準備/実施</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方拠点との連携による啓蒙活動</li> <li>・第三国との共同啓蒙交流</li> <li>・リソースセンター充実化</li> <li>・広報継続実施</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓蒙活動継続実施</li> <li>・リソースセンター自立機能化</li> <li>・広報継続実施</li> <li>・各関連機関との連携強化</li> </ul>                     |

(2) TESDA 職員への研修協力

- UN.INSTRAW(国連、国際女性地位向上調査訓練研修所、),UN.ESCAP(国連、アジア太平洋経済社会委員会),ILO 等主催の研修(WID/GAD 統計、データベースセミナー等)
- JICA の研修員受け入れ
- 太平洋アジア地域調査研究・啓蒙活動機関による第三国研修
- 日本のアジア女性労働交流事業(労働省婦人局外郭財団法人婦人少年協会)研修員受け入れ等

(3) 女性職業訓練センター修了生への研修協力

- 太平洋アジア地域における職業訓練センターおよび啓蒙活動機関の協力による第三国研修への派遣

(4) 比国各政府機関、NCRFW, DTI, DA, DSWD からの技術的な協力

(5) NGO からの共同調査研究/啓蒙プログラム・交流

日本の NGO としては、現在、北九州交流フォーラム(北九州市)、フォーラムよこはま(横浜市女性協会)等が共同調査研究/啓蒙プログラム・交流を歓迎している。

### 5-3 課題

本センターの運営を円滑に行うため、以下の点について留意・改善・整備がなされれば、本計画はより一層の裨益効果が期待できる。

#### (1) 調査研究、啓蒙活動の重要性

本センターの目的は、職業訓練、調査研究、啓蒙活動を通じて、比国女性の地位向上を目指す事にあり、各活動は相互に連携し合う事で大きな成果が得られると考えられている。一方、本センターの所轄機関である TESDA は、1994 年に発足した比国全土の技術教育機関を統括する新組織であり、職業訓練の実施のみならず、訓練プログラムの策定から、民間企業への技能向上コンサルティング活動まで、広範囲にわたる活動と機能を持つ。TESDA の母体となった NMYC は、職業訓練分野で多くの経験と実績を有するものの、調査研究・啓蒙活動は外部機関に委託していた経緯から、TESDA だけでは十分対応しきれないと思われる。

特に、本センターは女性の地位向上を目指した女性総合センターであり、比国では初の女性を対象とした職業訓練指導員訓練所を併設しており、調査研究・啓蒙活動を有機的に連携させた活動が求められるため、これまでの調査研究・啓蒙活動とは異なったアプローチが必要となる。即ち、女性労働市場の需給関係を探求し、女性の訓練受講が容易で雇用にも結び付き易い条件の調査研究や、自立した卒業生の成功例などを紹介する事で特に非伝統分野への女性進出への啓蒙に努めるなど、企業側の雇用ニーズと女性の社会的経済的状況とを擦り合せ、齟齬のない一貫したサイクルを形成し、職業訓練の収益率を高め、確実に女性の社会的地位の向上に努める必要がある。したがって、NCRFW、教育機関(UP、PWU、MSU、UAP 等)、民間団体、企業および各種 NGO と連携を取り合いながら、この3つの活動をバランス良く機能させることが重要である。

#### (2) 企業雇用ニーズを反映した訓練

産業界の技術革新は日進月歩であり、常に新しい技術が開発されている。このため企業が必要とする人材の技術・技能は常に変化している。このためこれら人材の育成を目的とする職業訓練機関では、この技術革新に対応した訓練を行い、人材を育成する必要がある。

したがって、本センターの職業訓練部門、調査研究部門、啓蒙部門が連携し、企業雇用ニ-

ズを常に把握し職業訓練の科目、カリキュラムなどをニーズに応じ変更できる柔軟性が求められる。

この柔軟性とは、企業雇用ニーズに応じ訓練分野や訓練カリキュラムが変えられると言うことであり、訓練機材を含めた諸設備の更新の必要が生じる。本センターでは訓練の一部は、企業の協力により OJT で実施することになっており、企業が所有する機材によってこれらの変化に対応した訓練は行えるが、本センターでも産業技術の変化により必要となる訓練機材は、TESDA にて更新が必要と予測され、その整備のための予算措置が極めて重要となろう。

職員自身も企業が必要とする技術・技能の情報を入手し、日進月歩の技術革新に対応できるよう自己研賛と研修の機会が確保されるようにしなければならない。

### (3) 職員の定着化

TESDA の規定では、職業訓練指導員は 4 年制大学を卒業した工学士クラス、調査研究には修士クラスとなっており、優秀なスタッフを集める必要があるが、これらの高学歴の人材は労働市場で転職の機会も多い。

本センターは WID/GAD を配慮し、女性を対象とした訓練施設であり、比国では唯一の施設である。このため職業訓練の内容も女性向きに行われる必要があり、訓練開始後も継続的な研究が必要になる。このためより良い訓練内容とするため、職業訓練指導員による思考錯誤・実験が行われることになると考えられるが、この種の経験が転職により失われることにより、ノウハウが蓄積がされない。調査研究、啓蒙分野においても同じく、短期間で職員の交代はノウハウの蓄積にならないため、できるだけ定着化ができるよう配慮が望まれる。

# 資 料 編

1. 調査団の構成
2. 調査日程
3. 相手国関係者リスト
4. 当該国の社会・経済事情
5. その他データ
6. 参考資料リスト

## 1. 調査団の構成



## 1. 調査団の構成

### 1-1 基本設計調査団 (B/D I)

(フェーズ-I)

- (1) 総括  
柳 秀直 外務省経済協力局 無償資金協力課首席事務官
- (2) 無償資金協力  
村樫 裕康 外務省経済協力局 無償資金協力課事務官
- (3) 計画管理  
戸塚 真治 国際協力事業団 無償資金協力調査部 基本設計調査第二課
- (4) 技術協力  
安東 義雄 外務省経済協力局 技術協力課外務事務官
- (5) 業務主任/建築計画  
柳澤 璋忠 (株)久米設計
- (6) 副主任/マンパワー需給、ニーズ調査  
丸山 弘 (財)海外職業訓練協会
- (7) 婦人活動/啓蒙、調査、研究/WID  
青木 憲代 アイシーネット(株)
- (8) 訓練計画  
稲川 文夫 (財)海外職業訓練協会
- (9) 設備計画  
浜野 修 (株)久米設計
- (10) アドバイザー  
安陪 陽子 (財)婦人少年協会



(フェーズ-2)

(1) 総括

奥田 紀宏 外務省経済協力局 無償資金協力課長

(2) 無償資金協力

湯美 正洋 外務省経済協力局 無償資金協力課研究調査員

(3) 計画管理

戸塚 真治 国際協力事業団 無償資金協力調査部 基本設計調査第二課

(4) 業務主任/建築計画

柳澤 璋忠 (株)久米設計

(5) 設備計画

浜野 修 (株)久米設計

## 1-2 基本設計調査団 (B/D II)

(1) 総括

岩口 健二 国際協力事業団 無償資金協力調査部長

(2) 無償資金協力

渥美 正洋 外務省経済協力局 無償資金協力課事務官

(3) 訓練計画

植松 卓史 国際協力事業団 国際協力専門員

(4) 業務主任/建築計画

柳澤 璋忠 (株)久米設計

(5) 設備計画

浜野 修 (株)久米設計

(6) 機材計画

稲川文夫 (財)海外職業訓練協会

(7) 施工計画/積算

永富 誠 (株)久米設計

(8) 施設計画

竹田 精次郎 (株)久米設計

(9) アドバイザー(調査研究、啓蒙)

青木 憲代 アイシーネット(株)

(10) 機材計画

鬼塚 郁夫 (財)海外職業訓練協会

### 1-3 基本設計概要説明

(1) 総括

河西 明 国際協力事業団 技術参与

(2) 計画管理

戸塚 真治 国際協力事業団 無償資金協力調査部 基本設計調査第二課

(3) 業務主任/建築計画

柳澤 璋忠 (株)久米設計

(4) 機材計画

稲川 文夫 (財)海外職業訓練協会

(5) 設備計画

浜野 修 (株)久米設計

(6) 施工計画/積算

永富 誠 (株)久米設計

(7) 施設計画

竹田 精次郎 (株)久米設計

(8) 機材計画

鬼塚 郁夫 (財)海外職業訓練協会

## 2. 調査日程



## 2. 調査日程

### 2-1 基本設計調査団日程(B/D I 1996年1月12日～2月21日：41日間)

| 日順 | 月日    | 曜日 | 調査内容  |
|----|-------|----|---|
| 1  | 1月12日 | 金  | コンサルタント団員 JL741便(東京→マニラ)<br>(柳澤主任、丸山副主任、青木婦人活動、浜野設備計画)<br>JICAマニラ事務所にて調査行程、方法等協議<br>CEST(アンケート調査)打合せ          |
| 2  | 13日   | 土  | 団内会議<br>インセプションレポート内容確認   |
| 3  | 14日   | 日  | 団内会議<br>インセプションレポート内容確認   |
| 4  | 15日   | 月  | TESDA協議、インセプションレポート説明<br>OMSD訓練施設調査<br>PEVOTI専門家打合せ   |
| 5  | 16日   | 火  | 日本大使館表敬<br>TESDA協議、NCRFW調査、MIRDC調査<br>CEST調査経過打合せ   |
| 6  | 17日   | 水  | 団内会議<br>EEL調査、NSO資料収集<br>MIRDC再調査、TMC(マツダ系)調査<br>NCWP・PWU調査   |
| 7  | 18日   | 木  | TESDA Regional (IV) Training Center AG & P, EEL, IMI調査<br>DSWD資料収集、TESDA資料収集、NCRFW資料収集<br>CHED資料収集、WOW(NGO)調査 |
| 8  | 19日   | 金  | JICA経過報告<br>CHED資料収集、SDRC調査<br>コンサルタント(縮川訓練計画、安陪アドバイザー)<br>JL741便(東京→マニラ)                                     |
| 9  | 20日   | 土  | 資料整理<br>団内会議  |
| 10 | 21日   | 日  | 資料整理<br>官団員(柳団長) JL741便(東京→マニラ)<br>調査経過報告   |
| 11 | 22日   | 月  | TESDA表敬・協議、NCRFW調査、DSWD調査<br>官団員(村樫事務官、戸塚計画管理) JL741便(東京→マニラ)<br>JICA表敬、日本大使館表敬                               |
| 12 | 23日   | 火  | TESDA表敬・協議、OMSD視察<br>Sen. L. Shahani表敬  |
| 13 | 24日   | 水  | TESDA協議、NEDA表敬、BWYW/DOLE協議<br>TMP(トヨタ系)自動車工場調査、PMAP調査   |
| 14 | 25日   | 木  | PAMC(三菱系)自動車工場調査<br>RFM Foundation Inc.調査<br>TESDAミニッツ協議  |
| 15 | 26日   | 金  | TESDAミニッツ確認・署名<br>JICA経過報告、日本大使館経過報告<br>PMA調査   |

| 日順 | 月日    | 曜日 | 調査内容   |
|----|-------|----|--|
| 16 | 1月27日 | 土  | FDC調査<br>団内会議<br>官団員帰国(柳田長、村樫事務官、戸塚計画管理)<br>JL742便(マニラ→東京)   |
| 17 | 28日   | 日  | 団内会議、資料整理<br>コンサルタント帰国(柳澤) JL742便(東京→マニラ)  |
| 18 | 29日   | 月  | OMSD調査、DSWD訓練所調査   |
| 19 | 30日   | 火  | TESDA訓練カリキュラム、訓練計画協議   |
| 20 | 31日   | 水  | 大宇自動車販売調査、ILOフィリピン事務所調査<br>訓練計画案作成<br>コンサルタント(浜野設備計画)帰国 JL742便(マニラ→東京)                                     |
| 21 | 2月1日  | 木  | 縫製工場(FTH内)調査、TESDA協議<br>コンサルタント(安路アドバイザー)<br>帰国JL742便(東京→マニラ)  |
| 22 | 2日    | 金  | Cardinal Ceramics(食品製造工場)調査、Campao Frio調査<br>San Miguel畜産加工工場調査<br>TESDA調査日程調整                             |
| 23 | 3日    | 土  | 団内会議、資料整理  |
| 24 | 4日    | 日  | 調査経過報告書作成  |
| 25 | 5日    | 月  | Jewelry Training Center調査、ARVI皮革工場調査<br>MSU女性研究センター調査  |
| 26 | 6日    | 火  | TESDA訓練カリキュラム協議、MSU女性研究センター調査<br>資料整理、カリキュラム検討   |
| 27 | 7日    | 水  | TESDA総合訓練計画、カリキュラム、機材計画協議<br>ラクソン長官経過報告、PIDS調査   |
| 28 | 8日    | 木  | 団内会議、Caritas (NGO)、WAND (NGO)、<br>ISIS International (NGO)調査   |
| 29 | 9日    | 金  | TESDA訓練カリキュラム協議、ラクソン長官打合せ、<br>WINT調査、OMSD訓練実施状況調査  |
| 30 | 10日   | 土  | 収集資料まとめ  |
| 31 | 11日   | 日  | 収集資料まとめ  |
| 32 | 12日   | 月  | CITC訓練センター調査、UP女性センター調査<br>TESDA訓練カリキュラム協議、ラクソン長官打合せ   |
| 33 | 13日   | 火  | TESDA訓練カリキュラム協議、UP女性センター調査<br>UPSOLAIR調査   |
| 34 | 14日   | 水  | TESDA長官経過報告<br>JICA経過報告  |
| 35 | 15日   | 木  | DON BOSCO Bakery訓練センター調査、DON BOSCO技術学<br>院調査CEST(アンケート調査)結果報告・協議<br>コンサルタント(柳澤主任、浜野設備計画)<br>JL741便(東京→マニラ) |

| 日順 | 月日    | 曜日 | 調査内容  |
|----|-------|----|---|
| 36 | 2月16日 | 金  | TESDA協議、<br>官団員(澁美事務官、戸塚計画管理) JL741便(東京→マニラ)<br>官団員へ調査経過報告                                |
| 37 | 17日   | 土  | 資料整理<br>官団員(奥田団長) JL741便(東京→マニラ)<br>JICA、日本大使館合同経過報告、協議<br>コンサルタント(橋川訓練計画) JL742便(マニラ→東京) |
| 38 | 18日   | 日  | 資料整理  |
| 39 | 19日   | 月  | TESDAミニッツ案協議、総合報告会<br>ミニッツ署名<br>Sen. L. Shahani協議   |
| 40 | 20日   | 火  | BEN SO SI HOK建築事務所調査、TESDA資料収集<br>コンサルタント(丸山副主任、青木女性活動)<br>JL742便(マニラ→東京)<br>資料整理         |
| 41 | 21日   | 水  | 資料整理<br>官団員(奥田団長、澁美事務官、戸塚計画管理)、コンサルタント<br>(柳澤主任、浜野設備計画) JL742便(マニラ→東京)                    |



2-2 基本設計調査団日程(B/D II 1996年3月25日～4月18日：25日間)

| 日順 | 月日    | 曜日 | 日 程   |
|----|-------|----|---|
| 1  | 3月25日 | 月  | 渥美、植松各官団員及コンサルタント団員7名<br>09:45 成田発 (JL741) 13:25 マニラ着<br>10:00 名古屋発 (JL743) 13:15 マニラ着<br>団内会議  |
| 2  | 26日   | 火  | TESDA協議(一日中): インテムレポート、<br>協議議事録(ドラフト)に係る協議   |
| 3  | 27日   | 水  | 官団員2名+女性活動担当 DSWD, NCRFW, NCWP表敬<br>他コンサルタントTESDAにて前日の協議継続、敷地確認<br>ミニッツ案手直し<br>岩口団長 9:45 成田発 (JL741) 13:25 マニラ着<br>夕刻: 大使館及JICA表敬/打合せ<br>その後、ホテルにて団内打合せ |
| 4  | 28日   | 木  | TESDAミニッツ案協議(調査研究、啓蒙活動、訓練計画、女性<br>センターとしての施設について)<br>訓練計画(金属、ホテル&レストラン)カリキュラム作成につ<br>いて協議<br>調査団主催夕食会   |
| 5  | 29日   | 金  | 午前: 官団員 NEDA協議<br>コンサルタント団内会議<br>午後: CACメンバーと協議(報告会)ミニッツ説明及署名<br>自動車カリキュラム、機材協議<br>JICA経過報告 TESDA主催夕食会  |
| 6  | 30日   | 土  | 岩口団長、アドバイザー 14:15 マニラ発 (JL742) 19:40 成田着<br>資料整理、無償案件視察   |
| 7  | 31日   | 日  | 資料整理、マニラ市内視察  |
| 8  | 4月1日  | 月  | 工事単価調査(サブコンに調査表配布)、現地調達資材等聴衆、<br>各訓練内容確認、機材内容協議、現地調達建設資材、訓練機<br>材調査、自動車カリキュラム、機材協議<br>測量業者打合せ   |
| 9  | 2日    | 火  | MERALCO, PLDT, MWSS インフラ状況調査、工事単価調査<br>(サブコンに調査表配布)、地質調査業者打合せ<br>訓練内容確認、機材内容協議(電子、金属、服飾、ホテル&レ<br>ストラン)  |
| 10 | 3日    | 水  | 建築確認申請、排水基準等調査(タギグ市庁舎)、TESDA各種<br>質疑事項への回答受領<br>各訓練内容確認、機材内容協議(電子、金属、服飾、ホテル&<br>レストラン)、官団員へ経過報告   |
| 11 | 4日    | 木  | 団内会議、施設規模・機材内容について<br>官団員: 14:15 マニラ発 (JL742) 19:40 成田着<br>資料整理   |
| 12 | 5日    | 金  | 資料整理<br>報告書作成   |
| 13 | 6日    | 土  | 団内会議(施設設計、機材設計調整、報告書目次案)<br>資料整理  |
| 14 | 7日    | 日  | 資料整理  |

| 日順 | 月日   | 曜日 | 日 程  |
|----|------|----|--|
| 15 | 4月8日 | 月  | 地質調査開始<br>TESDAにて質疑回答受領、職業訓練内容打合せ<br>建設事情ヒアリング<br>服飾、ホテル&レストランカリキュラム、機材打合せ             |
| 16 | 9日   | 火  | 団内会議(施設設計、機材設計調整、報告書目次案)<br>陶器訓練内容打合せ  |
| 17 | 10日  | 水  | TESDAにて施設内容説明、一般機材打合せ<br>陶器、宝石、金属、農産加工機材打合せ  |
| 18 | 11日  | 木  | TESDAクラブト-ギフト、農産加工カリキュラム、機材打合せ<br>建設事情ヒアリング<br>TESDA長官に計画施設内容協議<br>団内会議(JICA戸塚担当に経過報告) |
| 19 | 12日  | 金  | 計画道路調査、質疑回答確認<br>日本大使館、JICA経過報告<br>建設事情ヒアリング<br>訓練機材コスト調査、NGO(NCWP)施設内容協議              |
| 20 | 13日  | 土  | 柳澤主任技術者帰国：14:45マニラ発 (JL742)<br>資料整理、測量図受領  |
| 21 | 14日  | 日  | 資料整理   |
| 22 | 15日  | 月  | フィリピン女子大学視察<br>TESDA長官カリキュラム、訓練機材内容説明、確認(全分野)<br>建設コスト調査                               |
| 23 | 16日  | 火  | TESDA質疑回答受領、長官最終打合せ<br>訓練機材コスト調査   |
| 24 | 17日  | 水  | 類似施設視察、建築コスト調査、<br>団内会議  |
| 25 | 18日  | 木  | 帰国準備、コンサルタント、サポートスタッフ帰国：<br>14:45 マニラ発 (JL742) 19:40 成田着                               |

2-3 基本設計調査団日程 (概要説明 1996年5月28日～6月6日：10日間)

| 日順 | 月日    | 曜日 | 日 程   |
|----|-------|----|---|
| 1  | 5月28日 | 火  | 河西団長、戸塚官団員及コンサルタント団員6名<br>09:45 成田発 (JL741) 13:25 マニラ着<br>JICA表敬(水野書記官合流)、団内会議                        |
| 2  | 29日   | 水  | 官団員、柳澤NEDA表敬<br>TESDA協議(一日中):基本設計調査概要説明、協議議事録(案)<br>協議<br>官団員シャハニ上院副議長表敬                              |
| 3  | 30日   | 木  | 協議議事録(案)協議、TESDA施設視察、技協プロジェクト<br>(MIRDC)視察<br>無償資金プロジェクト視察  |
| 4  | 31日   | 金  | TESDAミニッツ署名、官団員、柳澤JICA経過報告<br>TESDA、調査団合同夕食会  |
| 5  | 6月1日  | 土  | 河西団長、戸塚官団員 14:15 マニラ発 (JL742) 19:30 成田着<br>資料整理   |
| 6  | 2日    | 日  | 資料整理、市内視察   |
| 7  | 3日    | 月  | TESDA協議(施設内容、機材内容)<br>コンサルタント水野書記官に経過報告   |
| 8  | 4日    | 火  | 職業訓練所(San Eligus Jewelry Training Center)視察、<br>浜野団員 14:45 マニラ発 (JL742) 19:30 成田着<br>補足調査、TESDA協議(機材) |
| 9  | 5日    | 水  | TESDA挨拶、補足調査  |
| 10 | 6日    | 木  | 資料整理<br>コンサルタント団員5名 14:45 マニラ発 (JL742) 19:30 成田着  |

### 3. 相手国関係者リスト



### 3. 相手国関係者リスト

在フィリピン日本大使館

松田 慶文特命全権大使

村山 公使

高橋一等書記官

田中正晴一等書記官

水野順一郎一等書記官

JICA フィリピン事務所

橋本明彦所長

力石 寿郎次長

古川 所員

シャハニ上院議員事務所 (Office of Senator Leticia Ramos Shahani)

Senator Leticia Ramos Shahani

技術教育技能開発庁 (TESDA)

|                              |  |
|------------------------------|--|
| Mr. Jose D. Lacson           | Director General   |
| Mr. Zenaida G. Gordon        | TESDA Board Member   |
| Mr. Carlos G. Gellekanao     | Regional (VI) Director   |
| Mr. Platon D. Maglalang      | Regional (IV) Director   |
| Mr. Hilario P. Martinez      | Executive Director (Technical Services and Information Office) |
| Mrs. Alicia D. Santos        | Director, NCR Chairperson Task Force                           |
| Mrs. Imelda B. Taganas       | National Project Assistant Coordinator                         |
| Mrs. Dhora Floressa t. Rojas | Supervising Program Specialist                                 |
| Mrs. Yolanda O. Vega         | Standardizing and Certification Officer                        |
| Mrs. Teresita Expedita V.    | Cabatit Policy Research Division, Planning Office              |
| Mrs. Felicidad Zurbang       | Chief / Managing Coordinator                                   |
| Ms. Agripina P. ZAFRA        | Regional Director of Region IV                                 |

訓練カリキュラムおよび機材選定担当者 (Curriculum & Equipment study member)

|                        |                          |
|------------------------|--------------------------|
| Mr. Carlos Gellekanao  | Reg. VI Director (工芸)    |
| Mr. Regino Sebastian   | Reg. I Director (自動車)    |
| Mr. Fortunato Bosangit | NITVET (溶接)              |
| Mr. Severino B. Burgos | NITVET (電子)              |
| Mr. Virgie Bondoc      | NITVET (服飾)              |
| Mr. Virgie Diaz        | NITVET (農産品加工、ホテル・レストラン) |

Dr. Pepito O. Palamero                   ウエストピサヤ大学教授 (製陶)  
Mr. Ernesto Sanguir                   Reg. III Mecauyan Jewelry (宝飾)  
Mr. Ernesto Beltran                   NITVET

国家経済開発庁 (NEDA)

Mr. Ramon M. Falcon                   Sr. Economic Development Specialist

女性の役割委員会 (National Commission on the Role of Philippine Women - NCRFW)

Ms. Thesita S. Castillo               Executive Director  
Ms. Ermelita v. Valdeavilla       Chief Planning Officer of Monitoring Division  
Ms. Myrna Llagan Frillas           Chief Planning Officer of Research Division

国家統計局 (National Statistics Office - NSO)

Ms. Paula Monica Collado           Chief of Population and Housing Census Division  
Ms. Josie B. Perez                   Chief of Income and Employment Div.  
Ms. Consulo A. Rohas               Industry Statistics Div.

フィリピン女性の国家委員会 (National Council of Women of Philippines (NCWP))

フィリピン女子大学 (Philippine Women University)

Ms. Nona S. Ricafort               National President of NCWP  
Dr. Amelia B. Reyes               Vice President of PWU, Ph. D. Executive Director PWD -  
  DIWA  
Dr. Angie R. Abella               Executive Director of NCWP  
Ms. Dolly Do Quiros. Castillo      Director of Networking - DIWA

社会福祉開発省 (Department of Social Welfare and Development - DSWD)

Ms. Micagros P. Orticio           Bureau of Women's Welfare  
Ms. Irene Ocampo  
Ms. Teresa Pagatalan Maulcon    Director of Department of the Disable People

女性・青年福祉局 (Bureau of Women and Young Welfare - BWYW)

Ms. Teresa Maulcon  
Ms. Leon M. Delena  
Ms. Irma S. Valiente  
Mr. Vien Andres

貿易工業省 (Department of Trade and Industry)

Ms. Norma L. Roque               Executive Director

科学技術省工業／エネルギー研究開発委員会 (Department Science and Technology Philippine Council for Industry and Energy Research and Development - DOST PCIERD)

Mr. Emil Amparo Deputy Executive Director

国際労働機関 (International Labor Organization - ILO)

Mr. Krishnan Natarajan Deputy Director

Ms. Leentje Van Meihaeghe Program Officer

ミンダナオ州立大学、女性研究センター (Mindanao State University, Center for Women Study - MSU, CWS)

Ms. Emily M. Marohombsar President of Mindanao State University

Ms. Mriene T. Hofer Tamano Executive Director of Center for Women Studies

Canada International Development Agency - CIDA

Ms. Sylvia B. Engracia WID Advisor

Ms. Teresaa San Buenaventura HRD Advisor

女性のための女性 (Women for Women - WOW)

Ms. Zenaida G. Gordon Director of WOW

社会研究開発センター (Social Research Development Center - SRDC)

Dr. Trinidad S. Osteria, Director

高速道路 (Sky Way) コンサルタント

Mr. Atsusi Harada Sr. Highway Engineer Pacific Consultant International

Mr. Antonio M. Naranjo, CE Sr. Highway/Drainage Engineer J.F.CANCIO & Associates

Mr. Jaime F. CANCIO, M.ENG., FASEP Reg. Civil/Structure Engineer J. F. CANCIO & Associates

測量会社 (M.C. BALCE Surveying Services)

Mr. Manuel C. Balce, Jr. General Manager

地質調査会社 (ADVANCED GEOTECHNICAL ENGINEERING SERVICES)

Mr. Richard C. Tan Geotechnical Engineer

アンケート調査実施ローカルコンサルタント (CEST INC.)

Mr. Antonio U. Navarro President

Ms. Yola M. Mingoa Project Manager

Mr. Juanito F. Gregorio AVP for Business Development



金属工業会調査研究センター(Metal Industry Research and Development Center -MIRDC)

Mr. Dominador C. Cabatic Deputy Executive Director for Research and Development  
Mr. Joselito C. Soler Project Manager / Chief, BPS Testing Center  
Mr. Raul C. Porcincula Engineer III Heat Treatment , Welding & Forging Section

FRANCISCO MOTOR CORPORATION (マツダ系自動車工場)

Mr. Generosa J. Paralisan Assembly Plant Manager

EEI Corporation

Mr. Roger M. Murga President and Chief Operating Officer,  
President of Philippine Construction Association  
Mr. Rodolfo C. Hison QA/QC Group Manager Construction Division

Philippine Automotive Manufacturing Corporation (三菱系自動車会社)

Atty. Benito M. Claudio Vice President - Industrial Relation division  
Mr. Noel O. Capiton Assistant Manager - Personnel  
Atty. Carlos S. Cao, Jr. Sr. Manager - Human resources  
Mr. Renato P. Santiago Labor Relation Officer

TOYOTA Automotive

Ms. Cristian Arevalo Group head for Training & Development  
Ms. Rizza Cosay Kaiser/Non-production

Daewoo Cars

Mr. Elias S. Cipriano President

高等教育省 (Commission on Higher Education Office of the President)

Mr. Tocio C. M. Quiambao, Jr. Ed. D. Director  
Ms. Evangeline L. Lustania Education Supervisor

マニラ電力会社 (MERALCO)

Mr. Cesar J. Dawana Supervising Project Engineer South Sales Abello Center, Sta.  
Rosa

フィリピン長距離電話会社 (PLDT)

Mr. Edwin I. Rivera Network Consultant

首都圏上下水道会社 (MWS S)

Mr. Florencio C. Cunanan                      Manager, Design Department

ドンボスコ工業学校 (DON BOSCO TECHNICAL INSTITUTE)

Bro. Louis Parolin, sdb                      Technical Director

NGOs

RFM 基金 (RFM Foundation)

Ms. Anneli R. Lontoc                      DTI

Ms. Carmen Mana-Ay Solinap

環太平洋/南アジア女性協会 (Pan Pacific South East Asian Women Association-PPASEAWA)

Ms. Jossie dominquex                      Director of PPASEAWA

Caritas

Mr. Ricardo De Leon                      Deputy Director

WAND

Mr. Tess Gongora                      Assistant Coordinator

Personal Management Association of the Philippines

Ms. Nini A. Villamayor                      Executive Director

#### 4. 当該国の社会・経済事情

#### 4. 当該国の社会・経済事情

|    |   |
|----|---|
| 国名 | フィリピン共和国<br>Republic of the Philippines |
|----|---|

1996.03 1/2

| 一般指標     |                              |    |          |                                      |
|----------|------------------------------|----|----------|--------------------------------------|
| 政体       | 立憲共和制                        | *1 | 首都       | マニラ *1                               |
| 元首       | President Fidel Valdes RAMOS | *1 | 主要都市名    | セブ、ダバオ、イロイロ *1                       |
| 独立年月日    | 1946年07月04日                  | *1 | 経済活動可人口  | 24,000千人 (1992年) *5                  |
| 人種(部族)構成 | ル系が主体、他に中国系、スペイン系<br>、少数民族   | *1 | 義務教育年数   | 6年間 (1994年) *6                       |
| 言語・公用語   | ヒルガノ語、英語                     | *1 | 初等教育就学率  | -- % *5                              |
| 宗教       | ローマカトリック83%、プロテスタント9%        | *1 | 初等教育終了率  | 70.0% (1990年) *5                     |
| 国連加盟     | 1945年10月                     | *2 | 識字率      | 90.0% (1992年) *5                     |
| 世銀・IMF加盟 | 1945年12月                     | *3 | 人口密度     | 234.1246人/Km <sup>2</sup> (1994年) *4 |
|          |                              |    | 人口増加率    | 1.92% (1994年) *4                     |
|          |                              |    | 平均寿命     | 平均65.13 男62.59 女67.79 *4             |
|          |                              |    | 5歳児未満死亡率 | 55 /1000 (1992年) *5                  |
| 面積       | 300.0千Km <sup>2</sup>        | *4 | 加給-供給量   | 2,340.0cal/日/人 (1990年) *5            |
| 人口       | 69,808.93千人 (1994年)          | *4 |          |                                      |

| 経済指標         |                        |     |         |                          |
|--------------|------------------------|-----|---------|--------------------------|
| 通貨単位         | ペソ                     | *1  | 貿易量     | (1992年) *10              |
| 為替レート(IUS\$) | IUS\$= 26.214 (12月)    | *6  | 輸出      | 9,790.0百万ドル *10          |
| 会計年度         | 1月~ 12月                | *1  | 輸入      | 15,465.0百万ドル *10         |
| 国家予算         | (1993年)                | *7  | 輸入依存率   | 3.4% (1992年) *11         |
| 歳入           | 9,541.5 百万ドル           | *7  | 主要輸出品目  | 電子製品、繊維、ココナツ油、銅 *1       |
| 歳出           | 10,012.8 百万ドル          | *7  | 主要輸入品目  | 天然資源、資本財、石油製品 *1         |
| 国際収支         | 1,689.00 百万ドル (1992年)  | *7  | 日本への輸出  | 2,333.0百万ドル (1992年) *12  |
| ODA受取額       | 1,738.00 百万ドル (1992年)  | *8  | 日本からの輸入 | 3,517.0百万ドル (1992年) *12  |
| 国内総生産(GDP)   | 54,068.00 百万ドル (1993年) | *9  |         |                          |
| 一人当たりGNP     | 850.0 ドル (1993年)       | *9  | 外貨準備総額  | 5,987.0百万ドル (1995年) *6   |
| GDP産業別構成     | 農業 22.0 % (1992年)      | *10 | 対外債務残高  | 32,589.0百万ドル (1992年) *11 |
|              | 鉱工業 33.0 % (1992年)     |     | 対外債務返済率 | 27.7 % (1992年) *11       |
|              | サービス業 45.0 % (1992年)   |     | インフレ率   | 7.8 % (1992年) *8         |
| 産業別雇用        | 農業 45.0 % (1992年)      | *5  |         |                          |
|              | 鉱工業 16.0 % (1992年)     |     |         |                          |
|              | サービス業 39.0 % (1992年)   |     | 国家開発計画  | 新中期開発計画1993~1998年 *13    |
| 経済成長率        | -- % (1992年)           | *8  |         |                          |

| 気象(1919年~1979年平均) 場所: Manila (標高 14m) |                           |      |      |      |       |       |       |       |       |       |       |      |            |
|---------------------------------------|---------------------------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------------|
| 月                                     | 1                         | 2    | 3    | 4    | 5     | 6     | 7     | 8     | 9     | 10    | 11    | 12   | 平均計        |
| 最高気温                                  | 30.0                      | 31.0 | 33.0 | 34.0 | 34.0  | 33.0  | 31.0  | 31.0  | 31.0  | 31.0  | 31.0  | 30.0 | 31.6℃      |
| 最低気温                                  | 21.0                      | 21.0 | 22.0 | 23.0 | 24.0  | 24.0  | 24.0  | 24.0  | 24.0  | 23.0  | 22.0  | 21.0 | 22.7℃      |
| 平均気温                                  | 25.5                      | 26.0 | 27.5 | 29.0 | 29.4  | 28.4  | 27.7  | 27.3  | 27.7  | 27.2  | 26.9  | 25.9 | 27.4℃      |
| 降水量                                   | 23.0                      | 13.0 | 18.0 | 33.0 | 130.0 | 254.0 | 432.0 | 422.0 | 356.0 | 193.0 | 145.0 | 66.0 | 2,085.0 mm |
| 雨期/乾期                                 | 雨 雨 雨 雨 雨 雨 雨 雨 雨 雨 雨 雨 雨 |      |      |      |       |       |       |       |       |       |       |      |            |

- \*1 The World Factbook(C.I.A)(1993)
- \*2 United Nations Information Center(FAX)(1994)
- \*3 Development Assistance Annual Report(1995)
- \*4 The World Fact Book(1995)
- \*5 Human Development Report(1994)
- \*6 International Financial Statistics(1995)
- \*7 International Financial Statistics Yearbook(1994)

- \*8 World Development Report(1994)
- \*9 World Tables(1995)
- \*10 World Tables(1994)
- \*11 World Debt Tables 1993-1994.(1993)
- \*12 世界の国一覽(外務省外務報道官編集)(1993)
- \*13 最新世界各國要覽(1995)
- \*16 World Weather Guide(1990)

|    |                             |
|----|-----------------------------|
| 国名 | フィリピン共和国                    |
|    | Republic of the Philippines |

1996.03 2/2

\*14

| 項目     | 年度 | 1989     | 1990      | 1991      | 1992      |
|--------|----|----------|-----------|-----------|-----------|
| 無償資金協力 |    | 2,043.46 | 2,382.47  | 2,515.30  | 2,699.97  |
| 技術協力   |    | 2,146.74 | 1,989.63  | 2,050.70  | 2,194.95  |
| 有償資金協力 |    | 5,161.42 | 5,676.39  | 7,364.47  | 5,852.05  |
| 総 額    |    | 9,351.62 | 10,048.49 | 11,930.47 | 10,746.97 |

\*3

| 項目     | 歴年 | 1993   | 1990   | 1991   | 1992     |
|--------|----|--------|--------|--------|----------|
| 無償資金協力 |    | 87.19  | 61.98  | 63.43  | 73.32    |
| 技術協力   |    | 158.23 | 91.15  | 110.19 | 112.34   |
| 有償資金協力 |    | 512.96 | 493.31 | 285.36 | 845.01   |
| 総 額    |    | 758.38 | 646.44 | 458.98 | 1,030.67 |

\*14

|                | 贈 与 (1) |        | 有償資金協力 (2) | 政府開発援助 (ODA) (1) + (2) = (3) | その他政府資金及び民間資金 (4) | 経済協力総額 (3) + (4) |
|----------------|---------|--------|------------|------------------------------|-------------------|------------------|
|                |         | 技術協力   |            |                              |                   |                  |
| 二国間援助 (主要供与国)  | 610.50  | 428.00 | 928.10     | 1,538.60                     | 284.50            | 1,823.10         |
| 1. 日本          | 185.70  | 241.00 | 845.00     | 1,030.70                     | 0.00              | 1,030.70         |
| 2. アメリカ        | 241.00  | 73.30  | -12.00     | 229.00                       | 175.00            | 404.00           |
| 3. ドイツ         | 40.40   | 31.40  | 34.70      | 75.10                        | 29.10             | 104.20           |
| 4. フランス        | 15.00   | 3.60   | 28.60      | 43.60                        | 12.40             | 56.00            |
| 多国間援助 (主要援助機関) | 64.10   | 39.80  | 112.80     | 176.90                       | 436.80            | 613.70           |
| 1. ASDB        | 0.00    | 0.00   | 0.00       | 0.00                         | 0.00              | 0.00             |
| 2. IDA         | 0.00    | 0.00   | 0.00       | 0.00                         | 0.00              | 0.00             |
| そ の 他          | 0.90    | 0.00   | 1.60       | 2.50                         | 0.00              | 2.50             |
| 合 計            | 675.50  | 467.80 | 1,042.50   | 1,718.00                     | 721.30            | 2,439.30         |

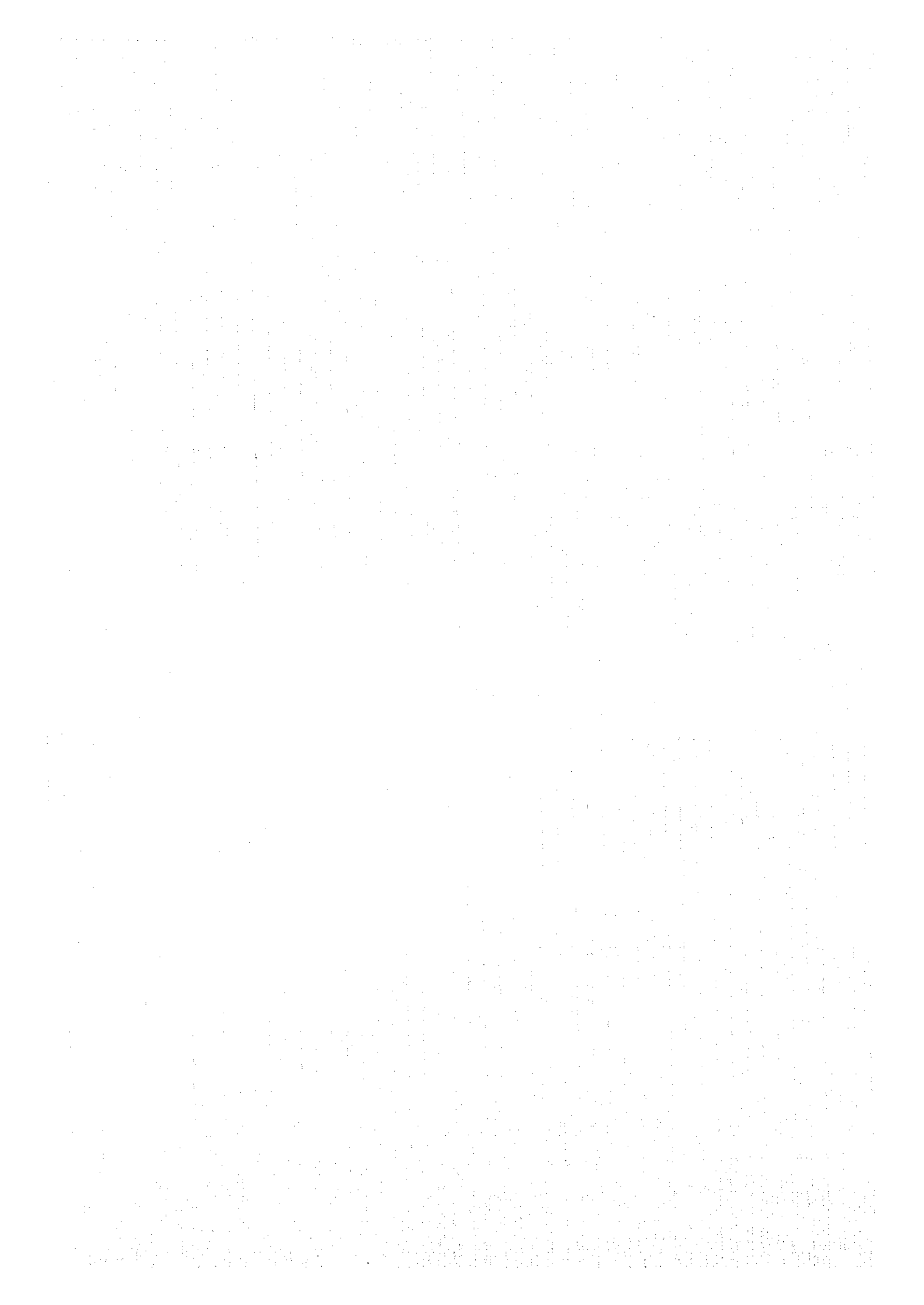
\*15

|     |                   |
|-----|-------------------|
| 技術  | 国家経済開発庁←NEDA外国援助部 |
| 無償  | NEDA              |
| 協力隊 |                   |

\*14 Geographical Distribution of Financial Flows of Developing Countries(1994)

\*15 国別協力情報(JICA)

## 5. その他データ



5. その他データ

添付資料 5-1 アンケート調査票 (抜粋)

**QUESTIONNAIRE  
FOR FEMALE HIGH SCHOOL STUDENTS**

1. **Basic Information:**

Age: \_\_\_\_\_

2. **Plans After High School. Mark a check in one of the following:**

- To look for employment after high school
- To continue schooling in a higher level
- Others, Specify \_\_\_\_\_

3. **To identify the career which you desire to have in the future, mark a check in any one or more of the items below. (More than one answer is encouraged).**

- Self-employment
- Clerk management
- Service
- Sales
- Retailer
- Machine operator/professional motor-vehicle driver
- Others, Specify \_\_\_\_\_
- Engineering management
- Technician/supervisor
- Office worker
- Production worker

4. **A female vocational training center is being planned now. To show the level of your interest, mark a check in one of the following:**

- Very interested in and desirous of knowing the details
- Desirous of knowing the types of vocation and training courses available
- Desirous of knowing the relations between qualification and employment
- Not interested in such center.

5. **Are you desirous of being a trainee in the female vocational training center? Mark a check in one of the following:**

- Desirous of being a trainee without fail
- Desirous of being a trainee if a certain number of conditions are satisfied
- I may well be a trainee though I do not have serious interest
- Undesirous of being a trainee

6. **If you desire to be a trainee, mark a check in any one or more of the items below. (More than one check is encouraged.)**

- Comprehensive trainer skill training---  
For those who have completed a high school course; vocational training instructor developing training skills. Duration: 2 years
- Pre-employment skill training--  
For those who have completed a high school course; skill development training. Duration: 3 months
- Non-skill training (course examples are shown below)--  
A seminar covering female workers: Duration: 1 month or less  
Course Examples:



training methodology, how to start business, leadership/management development, enlightenment/social development, management outline, labor value/attitude development, regional community organization, cooperatives development, conference management, social aptitude relations.

7. Concerning the vocational competence on which training is conducted in vocational training centers, answer to what extent you know.

(Write the number in the related parentheses by vocational competence)

- L1 I am able to fully understand what is done
- L2 I partially know what is done
- L3 I do not know in detail although I am able to understand
- L4 I do not have any knowledge at all

What vocational competence do you think are you desirous of being a trainee out of the following:

(Write the number in the related parentheses by vocational competence.)

- R1 Desirous of learning without fail
- R2 Desirous of learning so as to be an employee, though not desirous so much
- R3 Undesirous

| Type of Vocation | Vocational Competence   | Knowledge | Desire |
|------------------|---|-----------|--------|
| 1)               | 1) Servicing a motor vehicle:                                     |           |        |
|                  | 1. Repairing an electronic control                                | ( )       | ( )    |
|                  | 2. Mechanics  | ( )       | ( )    |
|                  | 3. Repairing the body of a motor vehicle                          | ( )       | ( )    |
|                  | 4. Coating  | ( )       | ( )    |
|                  | 5. Ornamenting the interior                                       | ( )       | ( )    |
|                  | 6. Servicing vehicular safety mechanisms                          | ( )       | ( )    |
| 2)               | 2) Electronic Technology:   |           |        |
|                  | 1. Manufacturing a printed circuit                                | ( )       | ( )    |
|                  | 2. Repairing electronic equipment                                 | ( )       | ( )    |
|                  | 3. Repairing TV and radio sets                                    | ( )       | ( )    |
|                  | 4. Repairing and assembling a refrigerator and an air-conditioner | ( )       | ( )    |
|                  | 5. Repairing a factory automation control                         | ( )       | ( )    |
| 3)               | 3) Metal Working Technology:                                      |           |        |
|                  | 1. Welding  | ( )       | ( )    |
|                  | 2. Sheet metal processing   | ( )       | ( )    |
|                  | 3. Machining  | ( )       | ( )    |
|                  | 4. Finishing  | ( )       | ( )    |
| 4)               | 4) Industrial Chinaware:  |           |        |
|                  | 1. Making a design model  | ( )       | ( )    |
|                  | 2. Making a mold  | ( )       | ( )    |
|                  | 3. Production   | ( )       | ( )    |
|                  | 4. Finishing  | ( )       | ( )    |

- 5) Food Processing:
- |    |   |     |     |
|----|---|-----|-----|
| 1. | Fermentation and microorganism processing | ( ) | ( ) |
| 2. | Drying and smoking                        | ( ) | ( ) |
| 3. | Can manufacturing and canning             | ( ) | ( ) |
| 4. | Testing and quality control               | ( ) | ( ) |
- 6) Hotels and Restaurants:
- |    |  |     |     |
|----|--|-----|-----|
| 1. | Front services                         | ( ) | ( ) |
| 2. | Preparing and maintaining a guest room | ( ) | ( ) |
| 3. | Servers                                | ( ) | ( ) |
| 4. | Cooking and/or dishwashing             | ( ) | ( ) |
- 7) Technical Arts:
- |    |                         |     |     |
|----|-------------------------|-----|-----|
| 1. | Leather arts            | ( ) | ( ) |
| 2. | Household ornamentation | ( ) | ( ) |
| 3. | Manufacturing a doll    | ( ) | ( ) |
| 4. | Woodcraft               | ( ) | ( ) |
| 5. | Bamboo/cane work        | ( ) | ( ) |
- 8) Dressmaking:
- |    |                       |     |     |
|----|-----------------------|-----|-----|
| 1. | Design                | ( ) | ( ) |
| 2. | Making a pattern      | ( ) | ( ) |
| 3. | Sewing in general     | ( ) | ( ) |
| 4. | Industrial sewing     | ( ) | ( ) |
| 5. | Industrial embroidery | ( ) | ( ) |
| 6. | Dry cleaning          | ( ) | ( ) |
- 9) Jewelry:
- |    |                       |     |     |
|----|-----------------------|-----|-----|
| 1. | Gold work             | ( ) | ( ) |
| 2. | Design                | ( ) | ( ) |
| 3. | Cutting and polishing | ( ) | ( ) |
- 10) Computer Work:
- |    |  |     |     |
|----|--|-----|-----|
| 1. | Computerized clerical work processing            | ( ) | ( ) |
| 2. | Accounting                                       | ( ) | ( ) |
| 3. | Data processing                                  | ( ) | ( ) |
| 4. | Computer-aided design/manufacturing<br>(CAD/CAM) | ( ) | ( ) |
| 5. | Computerized design                              | ( ) | ( ) |

11. Mark a check on the item/items below that you may want to use while you are a vocational trainee.

- |     |                             |     |                           |
|-----|-----------------------------|-----|---------------------------|
| ( ) | Dormitory                   | ( ) | Scholarship               |
| ( ) | Employment consultant       | ( ) | Health control consultant |
| ( ) | Temporary employment agency |     |                           |

12. Write down on what you want or expect concerning the vocational training center for women.

## QUESTIONNAIRE for ENTERPRISES

1. Furnish the following information:  
Name of Firm: \_\_\_\_\_  
Address: \_\_\_\_\_  
Line of Business: \_\_\_\_\_  
Number of Employees: \_\_\_\_\_  
Number of Female Employees: \_\_\_\_\_  
Capital Stock: \_\_\_\_\_
  
2. Concerning the time-series and future outlook of business activities, furnish the following information:  
Production (sales) achieved for the latest three years  
(1) 1992: \_\_\_\_\_ 1993: \_\_\_\_\_ 1994: \_\_\_\_\_  
Projection of production (sales) for the next three years:  
(2) 1995: \_\_\_\_\_ 1996: \_\_\_\_\_ 1997: \_\_\_\_\_
  
3. Check the business outlook of your company.  
 Business is growing rapidly.  
 Business is anyway making a good showing.  
 Business is growing on a level-off basis.  
 Business is not growing favorably.  
 Business is making a worst showing.
  
4. Is there any job site where a female employee or employees is stationed in your company?  
 YES     NO  
If your answer is Yes to the question above, furnish the following information:  
At the job site where a female(s) is stationed,  
Name(s) of the operation(s) under the female in-charge: \_\_\_\_\_  
Number of employees at the job site: \_\_\_\_\_  
Of the employees, number of female employee: \_\_\_\_\_
  
5. Has your company newly employed an employee or employee last year? Inform the number of employees newly employed in the year.  
Periodic or contractual employment/year: \_\_\_\_\_ persons, of whom \_\_\_\_\_ (number) are female employees  
Non-periodic or regular employment/year: \_\_\_\_\_ persons, of whom \_\_\_\_\_ (number) are female employees
  
6. At present, a male employee is in-charge of a job. If a female should be fully vocationally competent, will your company employ the female even in the male's place?  
 Provided, however, that the female is fully vocationally competent  
 Yes; irrespective of vocational competence, if she has plenty of experience  
 A decision will be made, based on her vocational competence.  
 No female workers will be employed.
  
7. To identify the vocational competence which will qualify a female to be employed if she has, mark a check in the related parentheses below.  
---A plural number of answers can be selected

| <u>Vocational Competence</u> |  | <u>Eligible for Employment</u>         |
|------------------------------|--|--|
| 1)                           | <b>Servicing a motor vehicle:</b><br>1. Repair of electronic control<br>2. Mechanics<br>3. Repair of the body of a motor vehicle<br>4. Coating/Painting<br>5. Ornamenting the interior   | ( )<br>( )<br>( )<br>( )<br>( )        |
| 2)                           | <b>Electronics:</b><br>1. Manufacturing a printed circuit board<br>2. Repair of electronic equipment<br>3. Repair of TV and radio sets<br>4. Repair of a refrigerator and an air-conditioner<br>5. Repair a factory automation control | ( )<br>( )<br>( )<br>( )<br>( )        |
| 3)                           | <b>Metal Working:</b><br>1. Welding<br>2. Sheet metal processing<br>3. Machining<br>4. Finishing   | ( )<br>( )<br>( )<br>( )               |
| 4)                           | <b>Industrial Chinaware:</b><br>1. Making a design model<br>2. Making a mold<br>3. Production<br>4. Finishing  | ( )<br>( )<br>( )<br>( )               |
| 5)                           | <b>Food Processing:</b><br>1. Fermentation and micro-organism processing<br>2. Drying and smoking<br>3. Can manufacturing and canning<br>4. Testing and quality control  | ( )<br>( )<br>( )<br>( )               |
| 6)                           | <b>Hotels and Restaurants:</b><br>1. Front services<br>2. Preparing and maintaining a guest room<br>3. Servers<br>4. Cooking and/or dishwashing  | ( )<br>( )<br>( )<br>( )               |
| 7)                           | <b>Technical Arts:</b><br>1. Leather arts<br>2. Household ornamentation<br>3. Manufacturing a doll<br>4. Woodcraft<br>5. Bamboo/cane work  | ( )<br>( )<br>( )<br>( )<br>( )        |
| 8)                           | <b>Dressmaking:</b><br>1. Design<br>2. Making a pattern<br>3. Sewing in general<br>4. Industrial sewing<br>5. Industrial embroidery<br>6. Dry cleaning   | ( )<br>( )<br>( )<br>( )<br>( )<br>( ) |

- 9) Jewelry:
1. Gold work ( )
  2. Design ( )
  3. Cutting and polishing ( )
- 10) Computer Work:
1. Computerized clerical work processing ( )
  2. Accounting ( )
  3. Data processing ( )
  4. Computer-aided design/manufacturing(CAD/CAM) ( )
  5. Computerized design ( )

8. To indicate the vocational competence development of those female employees who have a leading position, mark a check in one of the following parentheses:

- ( ) Female employees' vocational competence is being developed with a plan and budget.
- ( ) Female employee's vocational competence development is being implemented little by little though not planned.
- ( ) We are interested in developing the vocational competence of female employees but we have not planned it yet.
- ( ) For the time being, there is no plan to develop the vocational competence of female employees.

9. Concerning the vocational competence development of female employees in a leading position, mark a check in the parentheses given in the left side of item no. 10 to identify the vocational fields in which you have interest.

---A plural number of answers can be selected.

10. Do you have a plan of employing a women's vocational training instructor in the future? If any, mark a check in the parentheses given in the right side to identify the vocational fields in which you may include in such plan.

---A plural number of answers can be selected.

|  | 9. Interested in Vocational<br>Competence Development | 10. Possibility of<br>Employment |
|--|---|----------------------------------|
| (1) Motor Vehicle                                  | ( )   | ( )                              |
| (2) Electronic Technology                          | ( )   | ( )                              |
| (3) Metal Working Technology                       | ( )   | ( )                              |
| (4) Agricultural Products<br>Processing Technology | ( )   | ( )                              |
| (5) Hotels and Restaurants                         | ( )   | ( )                              |
| (6) Jewelry Processing<br>Technology               | ( )   | ( )                              |
| (7) Guidance Techniques                            | ( )   | ( )                              |

添付資料 5-2 アンケート調査結果

職業訓練種別アンケート結果 - 訓練科目への関心度

| 職 種            | 女子高生徒 |    |      |    | 女性職訓校生徒 |    |      |    | 女性就業者 |    |      |    |
|----------------|-------|----|------|----|---------|----|------|----|-------|----|------|----|
|                | 知 識   |    | 希望職種 |    | 知 識     |    | 希望職種 |    | 知 識   |    | 希望職種 |    |
|                | 人数    | 順位 | 人数   | 順位 | 人数      | 順位 | 人数   | 順位 | 人数    | 順位 | 人数   | 順位 |
| 1) 自動車 :       |       |    |      |    |         |    |      |    |       |    |      |    |
| 電子制御部修理        | 8     | 2  | 52   | 2  | 21      | 1  | 105  | 1  | 7     | 1  | 40   | 2  |
| 室内装飾           | 11    | 1  | 53   | 1  | 18      | 2  | 102  | 2  | 3     | 3  | 41   | 1  |
| 車輛保安機構整備       | 4     | 6  | 49   | 3  | 14      | 4  | 97   | 3  | 3     | 3  | 25   | 6  |
| メカニック          | 6     | 4  | 47   | 5  | 17      | 3  | 94   | 4  | 3     | 3  | 29   | 5  |
| 車体修理           | 5     | 5  | 43   | 6  | 12      | 5  | 94   | 4  | 4     | 2  | 30   | 4  |
| 塗装             | 7     | 3  | 48   | 4  | 17      | 3  | 96   | 5  | 7     | 1  | 35   | 3  |
| 2) 電子 :        |       |    |      |    |         |    |      |    |       |    |      |    |
| 冷蔵庫・エアコン修理     | 6     | 2  | 48   | 3  | 14      | 3  | 97   | 1  | 4     | 5  | 35   | 3  |
| TV、ラジオ修理       | 7     | 1  | 59   | 1  | 13      | 4  | 97   | 1  | 8     | 3  | 37   | 2  |
| 基盤回路製作         | 5     | 3  | 55   | 2  | 18      | 1  | 93   | 2  | 9     | 2  | 34   | 4  |
| 電子機器修理         | 4     | 4  | 55   | 2  | 15      | 2  | 93   | 2  | 10    | 1  | 40   | 1  |
| 工場自動制御補修       | 6     | 2  | 44   | 4  | 15      | 2  | 91   | 3  | 5     | 4  | 34   | 4  |
| 3) 金属 :        |       |    |      |    |         |    |      |    |       |    |      |    |
| 溶接             | 6     | 2  | 51   | 1  | 13      | 1  | 85   | 1  | 5     | 1  | 23   | 1  |
| 機械加工           | 4     | 3  | 47   | 3  | 12      | 2  | 85   | 1  | 4     | 2  | 19   | 4  |
| 板金加工           | 4     | 3  | 39   | 4  | 9       | 3  | 85   | 1  | 3     | 3  | 22   | 2  |
| 仕上げ            | 9     | 1  | 50   | 2  | 13      | 1  | 84   | 2  | 5     | 1  | 21   | 3  |
| 4) 製陶 :        |       |    |      |    |         |    |      |    |       |    |      |    |
| デザイン・モデル製作     | 17    | 1  | 72   | 1  | 21      | 1  | 111  | 1  | -     | -  | -    | -  |
| 仕上げ            | 11    | 2  | 62   | 2  | 16      | 3  | 100  | 2  | -     | -  | -    | -  |
| 型製作            | 10    | 3  | 60   | 3  | 14      | 4  | 100  | 2  | -     | -  | -    | -  |
| 製作             | 11    | 2  | 62   | 2  | 17      | 2  | 99   | 3  | -     | -  | -    | -  |
| 5) 食品加工 :      |       |    |      |    |         |    |      |    |       |    |      |    |
| 発酵と生化学         | 18    | 1  | 72   | 2  | 29      | 1  | 123  | 1  | 14    | 3  | 63   | 4  |
| カン製造・缶詰        | 9     | 4  | 75   | 1  | 18      | 3  | 123  | 1  | 22    | 1  | 68   | 1  |
| 試験・品質管理        | 11    | 3  | 70   | 3  | 23      | 2  | 120  | 2  | 15    | 2  | 67   | 2  |
| 乾燥・薫製          | 12    | 2  | 75   | 1  | 29      | 1  | 117  | 3  | 22    | 1  | 64   | 3  |
| 6) ホテル・レストラン : |       |    |      |    |         |    |      |    |       |    |      |    |
| 客室準備・営繕        | 39    | 3  | 109  | 1  | 55      | 3  | 144  | 1  | 44    | 3  | 107  | 2  |
| 調理・盛付け         | 54    | 1  | 106  | 2  | 79      | 1  | 143  | 2  | 89    | 1  | 114  | 1  |
| フロント業務         | 35    | 4  | 100  | 3  | 50      | 4  | 142  | 3  | 44    | 3  | 103  | 3  |
| 給仕             | 42    | 2  | 98   | 4  | 58      | 2  | 132  | 4  | 57    | 2  | 101  | 4  |

| 職 種                | 女子高生徒 |    |      |    | 女性職調校生徒 |    |      |    | 女性就業者 |    |      |    |
|--------------------|-------|----|------|----|---------|----|------|----|-------|----|------|----|
|                    | 知 識   |    | 希望職種 |    | 知 識     |    | 希望職種 |    | 知 識   |    | 希望職種 |    |
|                    | 人数    | 順位 | 人数   | 順位 | 人数      | 順位 | 人数   | 順位 | 人数    | 順位 | 人数   | 順位 |
| 7) 工芸：             |       |    |      |    |         |    |      |    |       |    |      |    |
| 人形製造               | 22    | 1  | 88   | 2  | 26      | 1  | 124  | 1  | -     | -  | -    | -  |
| 家庭装飾               | 15    | 5  | 99   | 1  | 21      | 3  | 122  | 2  | -     | -  | -    | -  |
| 革工芸                | 19    | 3  | 88   | 2  | 22      | 2  | 118  | 3  | -     | -  | -    | -  |
| 木工芸                | 20    | 2  | 77   | 3  | 19      | 4  | 115  | 4  | -     | -  | -    | -  |
| 竹・藤工芸              | 17    | 4  | 73   | 4  | 21      | 3  | 114  | 5  | -     | -  | -    | -  |
| 8) 服飾：             |       |    |      |    |         |    |      |    |       |    |      |    |
| パターンメイキング          | 56    | 2  | 116  | 2  | 65      | 1  | 161  | 1  | -     | -  | -    | -  |
| デザイン               | 59    | 1  | 120  | 1  | 61      | 2  | 159  | 2  | -     | -  | -    | -  |
| 一般縫製               | 51    | 3  | 111  | 3  | 61      | 2  | 154  | 3  | -     | -  | -    | -  |
| 工業刺繍               | 40    | 4  | 106  | 4  | 35      | 5  | 148  | 4  | -     | -  | -    | -  |
| 工業縫製               | 37    | 6  | 104  | 5  | 36      | 4  | 144  | 5  | -     | -  | -    | -  |
| ドライクリーニング          | 39    | 5  | 95   | 6  | 41      | 3  | 141  | 6  | -     | -  | -    | -  |
| 9) 宝飾：             |       |    |      |    |         |    |      |    |       |    |      |    |
| 金細工                | 15    | 2  | 87   | 1  | 19      | 1  | 124  | 1  | 10    | 1  | 96   | 1  |
| デザイン               | 17    | 1  | -    | -  | 14      | 2  | 119  | 2  | 9     | 2  | 95   | 2  |
| カット・研磨             | 14    | 3  | 77   | 2  | 13      | 3  | 118  | 3  | 10    | 1  | 90   | 3  |
| 10) コンピューター：       |       |    |      |    |         |    |      |    |       |    |      |    |
| 事務(コンピューター処理)      | 40    | 1  | 172  | 1  | 75      | 1  | 161  | 1  | 68    | 1  | 159  | 1  |
| データプロセス            | 34    | 2  | 161  | 3  | 56      | 2  | 160  | 2  | 54    | 2  | 156  | 2  |
| CAD/CAM            | 22    | 5  | 154  | 5  | 40      | 5  | 150  | 2  | 21    | 5  | 152  | 4  |
| 経理                 | 27    | 4  | 170  | 2  | 55      | 3  | 155  | 3  | 43    | 3  | 152  | 4  |
| デザイン(コンピューター)      | 29    | 3  | 160  | 4  | 45      | 4  | 153  | 4  | 27    | 4  | 145  | 3  |
| 11) 訓練技術：          |       |    |      |    |         |    |      |    |       |    |      |    |
| 訓練手法ガイダンス          | -     | -  | -    | -  | -       | -  | -    | -  | 31    | 1  | 111  | 3  |
| 仕事の教え方             | -     | -  | -    | -  | -       | -  | -    | -  | 27    | 3  | 114  | 2  |
| 人材管理               | -     | -  | -    | -  | -       | -  | -    | -  | 28    | 2  | 115  | 1  |
| 個人教授法              | -     | -  | -    | -  | -       | -  | -    | -  | 24    | 4  | 108  | 4  |
| 集団教授法              | -     | -  | -    | -  | -       | -  | -    | -  | 22    | 5  | 108  | 4  |
| 12) 訓練センターに必要な施設等： |       |    |      |    |         |    |      |    |       |    |      |    |
| 寮                  | 97    | 2  | -    | -  | 116     | 1  | -    | -  | 141   | 1  | -    | -  |
| 保健婦相談              | 59    | 4  | -    | -  | 106     | 2  | -    | -  | -     | -  | -    | -  |
| 就業斡旋所              | 54    | 5  | -    | -  | 93      | 3  | -    | -  | 137   | 2  | -    | -  |
| 奨学金                | 188   | 1  | -    | -  | 62      | 4  | -    | -  | 59    | 3  | -    | -  |
|                    | 75    | 3  | -    | -  | 46      | 5  | -    | -  | 28    | 4  | -    | -  |

出典：CESTアンケート調査

添付資料 5-3 女性の雇用、能力開発に関する企業調査

| 業種及び<br>企業規模 | 調査<br>企業数 | 十分な技能、経験<br>があれば採用する | その時点で<br>検討する | 採用する予定なし | 女性の能力開発<br>を実施している | 能力開発の実施に<br>関心を持っている | 能力開発計画<br>の予定なし |
|--------------|-----------|----------------------|---------------|----------|--------------------|----------------------|-----------------|
| 1.自動車        |           |                      |               |          |                    |                      |                 |
| 大企業          | 3         | 3                    |               |          |                    | 2                    | 1               |
| 中企業          | 3         | 2                    |               | 1        | 1                  | 1                    | 1               |
| 小企業          | 3         | 3                    |               |          | 2                  |                      | 1               |
| 小計           | 9         | 8                    | 0             | 1        | 3                  | 3                    | 3               |
| 2.電子         |           |                      |               |          |                    |                      |                 |
| 大企業          | 3         | 2                    | 1             |          | 2                  |                      | 1               |
| 中企業          | 3         | 3                    |               |          | 2                  | 1                    |                 |
| 小企業          | 3         | 3                    |               |          | 1                  | 1                    | 1               |
| 小計           | 9         | 8                    | 1             | 0        | 5                  | 2                    | 2               |
| 3.金属         |           |                      |               |          |                    |                      |                 |
| 大企業          | 3         | 1                    | 1             | 1        | 2                  |                      | 1               |
| 中企業          | 3         | 2                    | 1             |          |                    | 1                    | 2               |
| 小企業          | 3         | 2                    | 1             |          |                    |                      | 3               |
| 小計           | 9         | 5                    | 3             | 1        | 2                  | 1                    | 6               |
| 4.製陶         |           |                      |               |          |                    |                      |                 |
| 大企業          | 1         | 1                    |               |          |                    |                      | 1               |
| 中企業          | 1         | 1                    |               |          |                    | 1                    |                 |
| 小企業          | 1         | 1                    |               |          |                    | 1                    |                 |
| 小計           | 3         | 3                    | 0             | 0        | 0                  | 2                    | 1               |
| 5.食品加工       |           |                      |               |          |                    |                      |                 |
| 大企業          | 1         | 1                    |               |          |                    |                      | 1               |
| 中企業          | 1         | 1                    |               |          | 1                  |                      |                 |
| 小企業          | 1         |                      |               | 1        |                    |                      | 1               |
| 小計           | 3         | 2                    | 0             | 1        | 1                  | 0                    | 2               |
| 6.紙・印刷       |           |                      |               |          |                    |                      |                 |
| 大企業          | 1         | 1                    |               |          |                    |                      | 1               |
| 中企業          | 1         | 1                    |               |          | 1                  |                      |                 |
| 小企業          | 1         | 1                    |               |          | 1                  |                      |                 |
| 小計           | 3         | 3                    | 0             | 0        | 2                  | 0                    | 1               |
| 7.工芸         |           |                      |               |          |                    |                      |                 |
| 大企業          | 1         | 1                    |               |          | 1                  |                      |                 |
| 中企業          | 1         |                      |               | 1        |                    |                      | 1               |
| 小企業          | 1         | 1                    |               |          | 1                  |                      |                 |
| 小計           | 3         | 2                    | 0             | 1        | 2                  | 0                    | 1               |
| 8.服飾         |           |                      |               |          |                    |                      |                 |
| 大企業          | 1         |                      | 1             |          | 1                  |                      |                 |
| 中企業          | 1         | 1                    |               |          | 1                  |                      |                 |
| 小企業          | 1         |                      | 1             |          |                    |                      | 1               |
| 小計           | 3         | 1                    | 2             | 0        | 2                  | 0                    | 1               |
| 9.宝飾         |           |                      |               |          |                    |                      |                 |
| 大企業          | 1         |                      | 1             |          | 1                  |                      |                 |
| 中企業          | 1         | 1                    |               |          | 1                  |                      |                 |
| 小企業          | 1         | 1                    |               |          |                    | 1                    |                 |
| 小計           | 3         | 2                    | 1             | 0        | 2                  | 1                    | 0               |
| 10.玩具        |           |                      |               |          |                    |                      |                 |
| 大企業          | 1         |                      |               | 1        | 1                  |                      |                 |
| 中企業          | 1         | 1                    |               |          |                    |                      | 1               |
| 小企業          | 1         | 1                    |               |          | 1                  |                      |                 |
| 小計           | 3         | 2                    | 0             | 1        | 2                  | 0                    | 1               |
| 合計           | 48        | 36                   | 7             | 5        | 21                 | 9                    | 18              |
| 割合(%)        |           | 75                   | 15            | 10       | 44                 | 19                   | 37              |



添付資料 5-4 企業訪問調査概要表(1)

| 企業名/場所                      | 分野                      | 面接者   | 従業員数                        | 女性数(技能系)  | 女性技能者への期待度   |
|-----------------------------|-------------------------|---|-----------------------------|---|--|
| フィビン自動車<br>/マニラ郊外           | 自動車組立<br>(三菱系)          | 副社長<br>Mr. Benito<br>M. Claudio   | 2,296人<br>約<br>120人<br>(女性) | 42人の女性テクニシャンが<br>いる。組立ライン、塗装<br>ボリッ、部品検査等に<br>従事している。                                 | 自動車について専門知<br>識を持つ女性の雇用、O<br>JTの受入も積極的に支<br>援する。女性のための<br>訓練センターを歓迎する。   |
| TMC/ラステニアス<br>マニラ郊外<br>(南部) | 自動車組立<br>(マツダ系)         | Assembly Plant<br>Manager<br>Mr. Palalisan                              | 約<br>300人                   | 現在はいない。以前<br>は組立ラインに女性<br>が2人いた。  | ツールが改善されれば<br>組立ラインにも女性で<br>可能。検査部門には適<br>している。  |
| トヨタ自動車<br>/マニラ郊外            | 自動車組立                   | Training Officer  | 1,906人<br>200人<br>(女性)      | 女性は現在いない。<br>以前溶接作業に2人<br>、出産、安全等の確保<br>のために事務系に移<br>動した。                             | 検査、仕上げ作業工程<br>に期待できる。専門知<br>識を持つテクニシャンは歓迎<br>する。   |
| 大宇<br>DaewooCars<br>/ケソン市   | 自動車販売<br>サービス           | 社長<br>Mr. Elias S.<br>Cipriano<br>フィビン商工会議所<br>会長                       | 約<br>300人<br>60人<br>(女性)    | 現在技術・技能訓練<br>では女性はいない。  | 男女、職種、賃金共に同<br>一である。技能職は経<br>験、勤続年数で賃金差<br>あり。トレーナ訓練のOJT<br>受入、訓練生採用に協<br>力。ペインティング、ケミカル<br>コネクト作業、重量物の扱<br>い等は不向きである。 |
| IMI/モンテンパ                   | 電子系                     | 社長<br>Mr. Ferrer<br>Marketing<br>Specialist<br>Mr. Mr. Raos             | 約<br>8,000人<br>(377)        | 94%女性、高卒者62%  | 女性が持つデリケートな作<br>業、連続作業の持続性<br>が職場に適している。<br>従順で訓練が容易。女<br>性の職業訓練に期待を<br>している。  |
| ANKOR/ANAM<br>/モンテンパ        | 電子系                     | Technician<br>Training Manager<br>Mr. Santiago                          | 約<br>6,600人<br>(377)        | 90%以上は女性  | テクニシャンである女性を望<br>んでいる。TESDA の2<br>年コースに期待をして<br>いる。  |
| EEI/ケソン市                    | 金属系<br>ツール修理工場          | 社長<br>Mr. Murga<br>品質管理部門<br>Group Manager<br>Mr. Hizon                 | 約<br>400人                   | エレクトリシアン 1人<br>ツール修理 8人<br>インストラクター 1人  | 女性の特性を活かせる<br>分野では作業を自主的<br>に進めている。<br>女性の技能に自信と期<br>待がみられた。   |
| EEI/パタカス                    | 金属系鉄工場<br>(プラント<br>・橋梁) | Manager<br>Mr. Pamitan<br>Shop Operation<br>Group Contoract<br>Division | 約<br>500人                   | ピーク時は 250人の<br>溶接工のうち53人<br>(20%)は女性であっ<br>た。現在は15人いる<br>。この女性は技能<br>初レベルで優勝して<br>いる。 | 溶接に関しては女性の<br>特性(ソフな筋肉)が<br>高い品質の生産に活か<br>されている。<br>男性の溶接工は海外に<br>出稼ぎに出でしまうの<br>で雇用が不安定である                             |

企業等訪問調査概要表(2)

| 企業名/場所                     | 分野                         | 面接者   | 従業員数           | 女性数(技能系)   | 女性技能者への期待度  |
|----------------------------|----------------------------|---|----------------|--|---|
| AGSP/バタカス                  | 金属系<br>鉄工場<br>(プラント用)      | Personal-AM<br>Mr. Cerda<br>Project Manager<br>Mr. Ismael   | 約<br>2,000人    | Techer Welders 2<br>5AWIG 16<br>3G Welder 18<br>4G Welder 4<br>6G Welder 31<br>FCAW Welder 4<br>2G GMAN 1<br>3G/4G GMAN 2<br>Mupti 1<br>TOTAL 79 | 女性用のトレーニングルームは整備していた。女性に適した機器の研究開発が必要。女性技能者の養成に強く期待を寄せていた。              |
| NIRDC/サウダ<br>(公的機関)        | 金属系<br>研究開発                | Deputy Executive<br>Director<br>Mr. Cabatic   | 約<br>300人      | プリント基板作成、NC<br>放電加工作業に女性<br>が研修をしていた。<br>ソウダ大学的女子学<br>生(2人)溶接技術<br>の研修を受けていた   | 女性職業訓練センターに対して全面的に支援をしたい。   |
| AA Ceramics                | 陶磁器系                       | Production Plann<br>ing & Control Ma<br>nager Mr. Jeanett<br>e C. Ramos<br>Acting Plant<br>Ms. Zenaida R. Mar | 約<br>250人      | 約200人、陶磁食器の<br>製造。陶磁器に絵柄<br>パターンを下に手書き、<br>下書きをフリップで作<br>業を進めている。  | OJTが中心である。訓練センターの修了者に期待をしている。   |
| SAN MIGUEL<br>Campofrio Co | 農産品加工                      | Reseach & Develo<br>pment Manager<br>Mr. Leticia Laguna<br>dor  | 約<br>200人      | 女性30~35人管理部<br>門、食品検査、研究<br>開発部門。  | 食肉加工であり食肉解体、運搬等重量作業が多く女性には不適當である。農産品加工の訓練には期待をする。                       |
| トリア/TRIUMPH                | 服飾系                        | Personal Manager<br>Mr. Juan F. Reyees  | 約<br>1,500人    | 女性90%、約1,350人<br>ほかの会社で2年以上<br>の経験者を対象に<br>採用している。6ヶ月<br>の使用期間あり。  | OJTの受入にはスーパー<br>サラーをつける必要がある<br>ことから抵抗がある。<br>女性のためのセンター<br>には関心があり協力する |
| ARVI Leathr                | 工業系<br>靴製造部門<br><br>靴バック部門 | President<br>Mr. Arthur S. Soriano  | 80人<br><br>80人 | 生産量に応じて採用<br>している。靴工場では<br>ミシ作業2人、Under<br>Making, Finishing,<br>開発部で27人。<br>靴バック部門では3<br>人の女性部門長が<br>いる、その下に68人の<br>女性が働いている。                   | OJTを受け入れる準備<br>がある。女性の技能工<br>に期待している。                                   |
| 宝石加工訓練<br>センター             | 宝石分野                       | Mr. Buben C.<br>Ricafort<br>Asst. Training<br>Director  | 40人            | 彫金、宝石加工の訓<br>練にはおよそ30%<br>の女性が懸命に取り<br>取り組んでいた。  | 産業界の技術・技能の<br>グレードアップには指導者<br>の養成が必要との認識<br>を示していた。                     |

添付資料5-5 ニーズ調査結果 (NGO)

| 職 種          | 非常に必要 | 必要  | それほど必要ない | 必要ない |
|--------------|-------|-----|----------|------|
| 1. 自動車       | 8     | 15  | 3        |      |
| 2. 電子        | 9     | 16  | 2        |      |
| 3. 金属        | 5     | 13  | 5        | 1    |
| 4. 製陶        | 6     | 12  | 4        |      |
| 5. 農産品加工     | 16    | 12  | 0        |      |
| 6. ホテル・レストラン | 8     | 15  | 1        | 1    |
| 7. 工芸        | 13    | 9   | 2        |      |
| 8. 服飾        | 13    | 10  | 2        |      |
| 9. 宝飾        | 8     | 8   | 5        | 1    |
| 10. コンピュータ操作 | 16    | 12  | 0        |      |
| 11. 情報技術     | 18    | 10  | 1        |      |
| 合 計          | 120   | 132 | 25       | 3    |

注 : 複数回答

出典 : アンケート調査結果より

添付資料 5-6 比国側からの要請内容

| 訓練コース及び訓練分野          | 訓練生数<br>/バッチ | バッチ数<br>/年 | 訓練生数         | 訓練期間    |
|----------------------|--------------|------------|--------------|---------|
| <b>A. 指導員訓練</b>      |              |            |              |         |
| 1. 訓練技法訓練            | 16           | 24         | 384          | 40~80時間 |
| 2. 技能向上訓練            |              |            | 352          | 6ヶ月(平均) |
| 1)自動車                | 16           | 2          | 32           |         |
| 2)電子                 | 16           | 2          | 32           |         |
| 3)金属                 | 16           | 2          | 32           |         |
| 4)工業製陶               | 16           | 2          | 32           |         |
| 5)農産品加工              | 16           | 4          | 64           |         |
| 6)ホテル・レストラン          | 16           | 2          | 32           |         |
| 7)服飾                 | 16           | 2          | 32           |         |
| 8)工芸                 | 16           | 4          | 64           |         |
| 9)宝飾                 | 16           | 2          | 32           |         |
| <b>B. 指導員養成訓練</b>    |              |            | 96           | 2年      |
| 1)自動車                | 16           | 1          | 16           |         |
| 2)電子                 | 16           | 1          | 16           |         |
| 3)金属                 | 16           | 1          | 16           |         |
| 4)農産品加工              | 16           | 1          | 16           |         |
| 5)ホテル・レストラン          | 16           | 1          | 16           |         |
| 6)宝飾                 | 16           | 1          | 16           |         |
| <b>C. 就職準備訓練</b>     |              |            | 432          | 4ヶ月(平均) |
| 1)自動車                | 16           | 3          | 48           |         |
| 2)電子                 | 16           | 3          | 48           |         |
| 3)金属                 | 16           | 3          | 48           |         |
| 4)工業製陶               | 16           | 3          | 48           |         |
| 5)農産品加工              | 16           | 3          | 48           |         |
| 6)ホテル・レストラン          | 16           | 3          | 48           |         |
| 7)服飾                 | 16           | 3          | 48           |         |
| 8)工芸                 | 16           | 3          | 48           |         |
| 9)宝飾                 | 16           | 3          | 48           |         |
| <b>D. 非技能訓練</b>      |              |            | 384          |         |
| 1)起業家教育              | 16           | 5          | 80           | 128時間   |
| 2)リーダーシップおよびマネジメント開発 | 16           | 5          | 80           | 83 //   |
| 3)啓蒙とソーシャルマーケティング    | 16           | 5          | 80           | 48 //   |
| 4)企業戦略と経営            | 16           | 2          | 32           | 48 //   |
| 5)労働倫理開発             | 16           | 1          | 16           | 64 //   |
| 6)コミュニティ組織開発         | 16           | 2          | 32           | 48 //   |
| 7)協同組合開発             | 16           | 1          | 16           | 64 //   |
| 8)会議運営               | 16           | 2          | 32           | 48 //   |
| 9)ジェンダー教育            | 16           | 1          | 16           | 48 //   |
| <b>合計</b>            | <b>544</b>   |            | <b>1,648</b> |         |

添付資料 5-7 各訓練分野の科目

| 協議を経て選定された科目   | フィリピン側から要請された科目   |
|--|---|
| <p>1.自動車</p> <p>1)自動車電子<br/>2)自動車電気<br/>3)エンジン・チューニング</p>  | <p>1)自動車電子<br/>2)自動車整備<br/>3)自動車板金<br/>4)自動車塗装<br/>5)内装<br/>6)保安基準</p>                |
| <p>2.電子</p> <p>1)電子の基礎<br/>2)家電用電子<br/>3)工業用電子 (シークス制御)</p>  | <p>1)工業用マイコン・ロボット<br/>2)半導体組立て<br/>3)家電用電子<br/>4)医療用電子</p>                            |
| <p>3.金属</p> <p>1)溶接 (ガス溶接、アーク溶接、TIG、MIG)</p>   | <p>1)溶接<br/>2)金属仕上げ加工・メッキ処理<br/>3)CAD</p>   |
| <p>4.製陶</p> <p>1)デザイン・模型製作<br/>2)型製作<br/>3)加工、処理、包装</p>  | <p>1)デザイン・模型製作<br/>2)型製作<br/>3)加工、処理、包装</p>   |
| <p>5.農産品加工</p> <p>1)醱酵・生化学<br/>2)乾燥・蒸製<br/>3)密閉、缶詰・ビン詰</p>   | <p>1)醱酵・生化学<br/>2)乾燥・蒸製<br/>3)缶詰・ビン詰<br/>4)検査・品質管理</p>                                |
| <p>6.ホテル・レストラン</p> <p>1)フロント業務 (コンピュータ作業を含む)<br/>2)客室業務<br/>3)食べ物等のサービス業務<br/>4)調理、食品準備<br/>5)ドライ・クリーニング</p> | <p>1)フロント業務 (コンピュータ作業を含む)<br/>2)客室業務<br/>3)食べ物等のサービス業務<br/>4)調理、食品準備</p>              |
| <p>7.服飾</p> <p>1)デザイン・型製作<br/>2)裁断・縫製・仕上げ (アイロン作業)<br/>3)工業用刺繍ミシン作業</p>                                      | <p>1)デザイン・型製作<br/>2)工業用ミシン作業<br/>3)工業用刺繍ミシン作業<br/>4)ドライ・クリーニング</p>                    |
| <p>8.工芸</p> <p>1)ぬいぐるみ製作(布、革)</p>  | <p>1)革工芸<br/>2)室内装飾品・新案物工芸<br/>3)ぬいぐるみ製作<br/>4)竹・藤工芸</p>                              |
| <p>9.宝飾</p> <p>1)宝飾デザイン<br/>2)鋳造・加工・仕上げ<br/>3)石留め・彫刻<br/>4)鑑定<br/>5)宝石加工</p>                                 | <p>1)宝飾デザイン<br/>2)鋳造・加工・仕上げ<br/>3)石留め・彫刻<br/>4)ポリシング<br/>5)鑑定<br/>6)彫金<br/>7)宝石加工</p> |
| <p>合計 27 科目</p>  | <p>39 科目</p>  |



| 企業名                                     | 所在地   |
|---|---|
| 1. Francisco Motors                     | - Las Pinas, Metro Manila                                   |
| 2. Toyota Alabang                       | - Alabang-Zapote Rd., Las Pinas                             |
| 3. Saulog Transportation                | - Paranaque, M. Manila                                      |
| 4. Infoland International               | - Paranaque, M. Manila                                      |
| 5. CITIMOTOBS                           | - Real St., Pamplona, Las Pinas                             |
| 6. international Pharmsaeutical Inc.    | - Las Pinas, Metro Manila                                   |
| 7. IPI, Las Pihas                       | - Las Pinas, Metro Manila                                   |
| 8. Mierafane Mktg.                      | - Las Pinas, Metro Manila                                   |
| 9. Spark Electronics                    | - Las Pinas, Metro Manila                                   |
| 10. Summer Computer Tech.               | - Las Pinas, Metro Manila                                   |
| 11. Grandos Phils.                      | - M. Alvarez, Las Pinas                                     |
| 12. Philips Phils.                      | - Alabang-Zapote, Las Pinas                                 |
| 13. Genaton Mktg.                       | - Las Pinas   |
| 14. Uniden                              | - FTI, Taguig, Metro Manila                                 |
| 15. The Sisters Garments                |   |
| 16. National Panasonis                  |   |
| 17. Rowena Garments                     |   |
| 18. Laws Textile                        |   |
| 19. Waltage Electrical contractor Corp. | - 5 Saint Catherine St., Perpetual Village, Bicutan         |
| 20. Jollibee                            | - SM Megamall, Mand.  |
| 21. Hyatt Tapi Group or Companies       | - Alabang-Zapote Rd., Las Pinas                             |
| 22. Nissan                              | - Makati City   |
| 23. Motor Tread                         | - Maysilo, Mandaluyong City                                 |
| 24. Mina's Transit                      | - Commonwealth Ave., Q. C.                                  |
| 25. Majestic Corp.                      | - Saw Blvd., Mand. City                                     |
| 26. Fitman Motor Works                  |   |
| 27. Kasa Motor Sales Corp.              | - Mand, City  |
| 28. BLGB                                | - ESIA, Pasay City  |
| 29. R. V. Marsan                        | - 23rd Chicago St., Port Area, Manila                       |
| 30. Begtas Motor Works & Machine Shop   |   |
| 31. Petron Gasoline                     | - G-5 Pasig City  |
| 32. San qquin Motor Shop                | - Mandaluyong City  |
| 33. Standard Iron                       | - Steel Corp., SIS E. Pantaleon, Barangka, Mandaluyong City |
| 34. B & E Mayflower                     | - Edsa Central  |
| 35. Teremi's Native & Snack Bar         | - Pasig City  |
| 36. Galleria Suite                      | - Robinson Galleria, Mand.                                  |

添付資料 5-10 各訓練分野のカリキュラム

訓練コース： 指導員養成訓練  
 訓練分野： 自動車  
 訓練期間： 8時間/日 40時間/週 1,600時間/10ヶ月  
 訓練員： 10名

訓練目標  
 自動車分野の自動車以外に、自動車電気装置、エンジン検査・調整の3分野に特化した知識・技能を有する女性職業訓練指導者の育成及び職業人としての素養を身につける。

| 科目                | 要目   | 訓練時間      |
|-------------------|--|-----------|
| 1 学 科             |  |           |
| ①生産工学             | 生産と工場、生産の合理化、生産活動の分析、作業の改善と標準化<br>品質管理、流通管理、原価計算、工場設備全体の保全管理   | 500<br>20 |
| ②安全衛生             | 作業安全及び労働衛生、安全衛生管理、関連法令、労働災害止対策等  | 20        |
| ③機械工学概論           | 機械要素、機構と運動、原動機、機械一般  | 40        |
| ④電気工学概論           | 電気理論、電気計測と測定法、直流回路、電流の磁気作用、<br>交流回路、電気機器、電気計器、各種の電気応用  | 40        |
| ⑤電子工学概論           | 電子とその作用、半導体、電子回路、パルス回路、ICの基礎   | 40        |
| ⑥材 料              | 材料一般、鉄と鋼、炭素鋼、鋳鉄、非鉄金属材料、非金属材料等  | 20        |
| ⑦製 図              | 製図一般事項、作図、機械図面の読みとり、スケッチ及び製図、<br>電気装置の製図等  | 40        |
| ⑧法 規              | 比国の自動車関連法規等  | 20        |
| ⑨自動車工学            | 自動車基礎、自動車一般、自動車性能、動力伝達装置、ブレーキ装置、<br>サスペンション装置、空気調和装置、フロントアキス等、電子制御式ATトランスミッション、<br>ABS等の構造、原理等、自動車整備法  | 80        |
| ⑩内燃機関工学           | 内燃機関一般、性能、燃焼、燃料潤滑、潤滑油及び作動油、<br>ガソリンエンジンの種類、構造、電子制御燃料噴射装置、エンジン本体、<br>エンジン電気系統、ディーゼルエンジンの種類、構造、エンジン付属装置の構造、<br>エンジン整備法(ガソリン、ディーゼルエンジン)   | 80        |
| ⑪自動車電気・<br>電子装置   | 自動車専用計器及び試験器による測定法、バッテリー、始動装置、<br>充電装置、点火装置、電磁燃料ポンプ等   | 80        |
| ⑫故障原因探求           | エンジン故障原因探求、シャシの故障原因探求、電気装置の故障原因探求  | 20        |
| 2 実 技             |  | 1,100     |
| ①パソコン<br>基本実習     | パソコン概要、キーボード操作、OS(MS-Window等)の基本操作、<br>ワープロ、表計算、図形処理ソフトの実習、印刷  | 80        |
| ②測定基本作業           | 長さ、内外径、曲がり及び振れの測定、平面度の測定、角度の測定   | 20        |
| ③工作基本作業           | 切断、やすりがけ、穴あけ、ねじ立て  | 40        |
| ④電気・電子<br>基本作業    | 直流電流/電圧の測定、交流電流/電圧の測定<br>各種電気・電子測定器の取扱、各種電気・電子回路の組立、測定<br>インピーダンス測定、電気回路特性、電流回路、<br>論理回路、四則演算回路、半導体基礎回路、パルス回路  | 200       |
| ⑤自動車電気<br>基本作業    | 自動車電気回路の検査、調整、バッテリー、始動装置、点火装置、<br>充電装置、その他のエンジン電気装置、灯火装置、警報装置、計器<br>空調装置、その他のシャシ電気装置   | 260       |
| ⑥自動車電子<br>基本作業    | 1)電子制御燃料噴射装置の分解、組立、測定、調整<br>燃料系統、吸気系統、制御系統<br>2)電子制御インジェクションの分解、組立、測定、調整<br>3)電子制御A/Tの分解、組立、測定、調整<br>4)ABSの検査調整<br>5)電子制御サスペンションの検査調整<br>6)空調装置の分解、組立、測定、調整<br>7)その他の電子装置の検査調整 | 240       |
| ⑦エンジン・アキス<br>基本作業 | ガソリンエンジンの総合調整<br>燃料装置、吸気装置、点火装置、始動装置、充電装置、冷却装置<br>潤滑装置、弁駆動装置<br>ディーゼルエンジンの総合調整<br>燃料装置、吸気装置、予熱装置、始動装置、充電装置、<br>冷却装置、潤滑装置、弁駆動装置   | 240       |
| ⑧安全衛生作業           | 応急処置、緊急処置、機械・機具等の取扱いに係る安全作業  | 20        |



訓練コース：指導員養成訓練

訓練分野：電子

訓練期間：8時間／1日 40時間／1週 1,600時間／10ヶ月

訓練定員：10名

訓練目標：電子回路・デジタル回路についての基礎知識を修得し、テスター・オシロスコープ・発振器等の取扱を学ぶこと。ラジオ・テレビ・ビデオのような大衆消費家電を修理するための技術・関連知識を習得する、さらにPLC・マイクロコンピュータを用いたシーケンス制御についての技術・知識を習得すること

| 科目                   | 要目  | 訓練時間  |
|----------------------|---|-------|
| 1 学科                 |   | 400   |
| ①生産工学                | 企業と生産性、工程管理、品質管理、労務態度、労働規則<br>サービスデータ、技術情報  | 20    |
| ②電子工学                | 電子と応用、電子管、半導体、電子回路  | 30    |
| ③電気理論                | 直流回路、電流と磁界、静電気、交流特性、交流回路、単相<br>交流、三相交流  | 40    |
| ④電子機器                | 電線設備、ラジオ機器、オーディオ機器、自動制御機器、コ<br>ンピュータ、産業界における電子機器の応用                                       | 70    |
| ⑤電気機器                | 発電所、変圧器、変圧器修理、インダクションモータ、モー<br>タ修理、交流整流子モータ、同調機械、整流器、分電盤                                  | 50    |
| ⑥応用電子                | デジタル電子、集合論、ブール代数、論理集合、基本ゲート<br>デジタル論理設計等々、マイクロコンピュータ回路                                    | 40    |
| ⑦行程手法                | 測定法、手仕上げ、工作機械、手工具の名称と使用法  | 20    |
| ⑧測定・試験法              | 一般測定、電磁気測定、変圧器の試験法、直流モータ、整流<br>子モータ、産業応用測定  | 50    |
| ⑨材 料                 | 構造材料、導電材料、特殊導電体、抵抗材料、絶縁材料、磁<br>性体、半導体材料   | 40    |
| ⑩製 図                 | 設計の一般、投影法、電子回路記号、電子回路図  | 20    |
| ⑪安全衛生                | 労働安全・衛生、安全・衛生管理、安全手順、危険回避   | 20    |
| 2 実技                 |   | 1,200 |
| ①パーソナルコンピュータ<br>基礎訓練 | パーソナルコンピュータ利用の一般事例、キーボードの打ち方、WINDOWの<br>基礎的取扱、アプリケーションソフト(ワードプロセッサ、表計算等)の活用、印刷            | 80    |
| ②測定作業                | 巻き線抵抗の測定、電気機器の特性試験、直流電位差計実験<br>電子管の静的特性試験、半導体、LCRの測定、LC発振回路の実<br>験、共振回路、高周波増幅回路、探知回路、変調回路 | 90    |
| ③回路図設計               | 回路図の読み方、描き方、接続法   | 50    |
| ④基本回路組立              | 大電力整流回路、増幅回路、パルス回路、振動回路、探知回<br>路、組立・調整、変調回路、他   | 180   |
| ⑤基本作業                | けがき、やすり掛け、切断、穴あけ  | 30    |
| ⑥分解・組立               | 手工具の取扱、半田付け、半田外し、半田無し接合   | 60    |
| ⑦電子制御実習              | シーケンス制御、PLC・マイクロコンピュータを用いての機器制御   | 350   |
| ⑧修理・調整               | 家電製品 ラジオ、オーディオ、TV、ビデオの修理・調整、電源、パワーア<br>ンプ、振幅変調、周波数変調 故障診断(ラジオ、オーディオ、TV、ビデオ)               | 350   |
| ⑨安全衛生                | 応急手当、実習場内での安全衛生の訓練  | 10    |

訓練コース：指導員養成訓練

訓練分野：溶接

訓練期間：8時間/1日 40時間/1週 1600時間/10ヶ月

訓練定員：10名

訓練目標：アーク溶接機、アセチレンガス溶接装置の取り扱いについて、知識と技能を習得し、各溶接姿勢における各種溶接の技能を習得するとともに、あわせてステンレス溶接に関するTIG溶接、アルミニウムに関するMIG溶接についての知識と技能を習得する。

| 科目                | 要目   | 訓練時間 |
|-------------------|--|------|
| 1 学科              |  | 320  |
| ① 生産工学大意          | 生産管理総論、生産計画総論、品質管理、労働理念、就業規則                                       | 20   |
| ② 安全衛生            | 安全衛生作業法、安全衛生管理、安全処理、事故防止   | 20   |
| ③ 材料              | 金属材料の種類、鋼の特徴と用途、非鉄金属材料、材料試験の方法                                     | 40   |
| ④ 溶接法             | 金属材料の溶接方法、ガス溶接および切断、特殊切断、アーク溶接、炭酸ガス半自動溶接、TIG溶接、MIG溶接、溶接部の検査法       | 200  |
| ⑤ 製図              | 製図一般、機械製図の読み方、溶接記号   | 40   |
| 2 実技              |  | 1280 |
| ① 機械基本作業および手仕上げ作業 | やすり作業、はつり作業、穴あけ作業、ねじたて作業、動力シャー、形削盤、開先加工機、カットオフマシン、グラインダ等の取り扱いおよび保守 | 80   |
| ② ガス溶接および切断       | ガス溶接装置の取り扱い、火炎の調整、各溶接姿勢における溶接、ろう付け溶接、溶断                            | 120  |
| ③ アーク溶接           | アーク溶接機の取り扱い、溶接電流の調整、各溶接姿勢における中厚平板溶接、突き合わせ溶接、重ね合わせ溶接、すみ肉溶接、パイプ溶接    | 450  |
| ④ 炭酸ガス半自動溶接       | 炭酸ガス半自動溶接機の取り扱い、溶接電流の調整、各溶接姿勢における平板溶接、突き合わせ溶接、重ね合わせ溶接、すみ肉溶接、パイプ溶接  | 200  |
| ⑤ TIG溶接           | TIG溶接装置の取り扱い、溶接電流の調整、各溶接姿勢における平板溶接、パイプ溶接                           | 180  |
| ⑥ MIG溶接           | MIG溶接装置の取り扱い、溶接電流の調整、各溶接姿勢における平板溶接、パイプ溶接                           | 180  |
| ⑦ 検査法             | 目視検査、曲げ試験、加圧試験   | 40   |
| ⑧ 安全衛生            | 応急処置、安全作業、整理整頓、衛生作業  | 40   |

訓練コース：指導員養成訓練

訓練分野：農産加工

訓練期間：8時間/1日 40時間/1週間 1600時間/10ヶ月

訓練生定員：16名

訓練目標：農産加工に係る発酵、微生物、乾燥、蒸製、パッケージング、缶詰め、瓶詰め等に関する識や技能を習得すると共に、農産加工技能者としての態度を身につける。

| 科 目                    | 要 目   | 訓練時間  |
|------------------------|---|-------|
| I 学 科                  |   | 440   |
| 1 健康と栄養                | 必須栄養素、水、炭水化物、蛋白質、脂質、無機質、ビタミン<br>生活と食物   | 40    |
| 2 工程管理                 | 工程生産管理、生産性向上、品質管理   | 40    |
| 3 安全と衛生                | 安全と機械操作、職場の整理整頓   | 40    |
| 4 食品加工入門               | 食品産業の歴史と発展、食品加工技術の変遷、市場調査   | 40    |
| 5 食品加工                 | 加工方法入門、源材料の保管と品質管理、瓶詰めと缶詰め、<br>乾燥と蒸製、機材と機械の使用方法、<br>包装、主な材料の加工方法、加工の実際、加工場の衛生管理、<br>香辛料と発色剤、保存剤と副原料、<br>原料及び加工方法による加工分類 | 140   |
| 6 食品衛生                 | 食品衛生と管理、食中毒、食品の劣化、食品の標準と規制  | 40    |
| 7 実験作業                 | 食品分析と品質検査：水分、灰分、蛋白質、PH、糖分、<br>バクテリアカウティング、カビの培養<br>食品腐敗観察、データ処理   | 100   |
| II 実 技                 |   | 1,160 |
| 1 材料処理                 | ハンドリングと保管、選別と等級処理、冷凍と解凍、水洗、<br>剥皮、裁断 塩漬け処理  | 100   |
| 2 機械操作                 | 加工機械、機材、検査器具等の使用方法  | 30    |
| 3 加 工                  |   |       |
| 1) 発 酵                 | アルコール発酵、酢発酵、材料と副材料の選考、工程作業、<br>衛生管理   | 150   |
| 2) 乾 燥                 | 前処理と本加工、品質管理と衛生管理、保管作業  | 200   |
| 3) 砂糖漬け<br>(果物・野菜)     | 選別とハンドリング、裁断と剥皮、乾燥加工  | 100   |
| 4) 塩漬けと<br>蒸製<br>(魚・肉) | 材料と副材料の選考<br>塩漬け、乾燥加工   | 200   |
| 4 パッケージング              |   |       |
| 1) 缶詰め<br>瓶詰め          | 瓶及び缶の準備、充填、脱気、殺菌、密封、水洗、冷却<br>ラベリング、貯蔵   | 300   |
| 2) その他                 | 熱シーリング、真空シーリング  | 50    |
| 5 安全と衛生                | 応急処置、職場の安全衛生、食品加工場の安全衛生   | 30    |

訓練コース：指導員養成訓練

訓練分野：ホテル・レストラン

訓練期間：8時間/1日 40時間/1週 1600時間/10ヶ月

訓練定員：16名

訓練目標：フロントデスク業務およびマネージメント（コンピュータ業務を含む）、ハウスキーピングおよびメンテナンス業務、料飲サービス業務、調理業務に関する知識と技能を習得し、あわせてホテル部門あるいはレストラン部門の業務に必要な就業道德について習得する。

| 科目       | 要 目  | 訓練時間 |
|----------|--|------|
| 1 学 科    |  | 350  |
| ① 生産工学大意 | ホテルの組織、客室部門業務、料飲部門、企画部門、コンピュータ概論、マネージメント部門、施設マネージメント、ホテル関係規則                           | 20   |
| ② 接客作法   | 労働道德、接客作法、言葉使い、応対姿勢、事例研究   | 20   |
| ③ 栄養学    | 各食材の栄養素、カロリーとカロリー計算、栄養バランス   | 70   |
| ④ 調理法    | 食材原価計算、調味料の種類、野菜、魚類、肉類、盛りつけ、各種調理器具と取り扱い、厨房設備、食器類                                       | 40   |
| ⑤ 飲み物類   | 飲み物の種類、ビール、スピリット、ワイン類、リキュール類、カクテル類、その他   | 40   |
| ⑥ 客室業務   | 組織と仕事、係の心得、客室調度品および取り扱い、清掃整備、ランドリーサービス、記録と報告、有害物とその管理、防火組織と避難、共用部分のメンテナンスと器具           | 40   |
| ⑦ フロント業務 | 客室と料金、宿泊予約とキャンセル、レセプション、チェックイン、宿泊条件の変更、チェックアウト、案内、メッセージ、郵便物の取り扱い、キャッシング、両替、電話交換、火災時の対処 | 100  |
| ⑧ 安全衛生   | 食品衛生と管理、器具類の取り扱いと安全、安全作業、整理整頓、作業服装、救急処置、応急処置、防火管理                                      | 20   |
| 2 実 技    |  | 1250 |
| ① 接客業務基礎 | 接客、客との会話、姿勢、位置、実例、その他  | 80   |
| ② 接客業務   | テーブルサービスの種類、食器および備品の取り扱い、テーブルセッティング、テーブルサービス、パンケットサービスの実務、料飲サービス、バー部門のサービス、洋酒の種類       | 160  |
| ③ 調理     | 調理器具の取り扱い、材料の保管、調味料、ストック、スープ、ソース、野菜調理、肉調理、魚調理、盛りつけ                                     | 400  |
| ④ 宿泊室業務  | 清掃、ハウスキーピング、客室係の業務、ランドリーサービス、記録と報告、ランドリー業務   | 140  |
| ⑤ フロント業務 | フロントサービス業務、フロントオフィス業務、バックオフィス業務、コンピュータ処理   | 400  |
| ⑥ 安全衛生作業 | 安全作業、衛生管理、防火訓練、避難訓練、宿泊客誘導その他   |      |

訓練コース：指導員養成訓練

訓練分野：宝飾

訓練期間：8時間/1日 40時間/1週 1,600時間/10カ月

訓練定員：10名

訓練目標：宝飾デザイン、鋳造、研磨作業、石留作業、彫金作業、  
宝飾鑑定作業と宝飾研磨作業を通して宝飾加工に必要な技術と専門知識を  
習得するとともに、この訓練を通して宝飾加工職業人としての素養を身につける。

| 科 目               | 項 目   | 訓 練 時 間 |
|-------------------|---|---------|
| I 基本学科            |   | 320     |
| 1, 生産工学           | 品質管理法, 工程管理法, 品質保証, 標準作業法   | 40      |
| 2, 材 料            | 材料の種類, 金属の用途と性質, 貴金属と宝石<br>宝飾(指輪, イヤリング, ネックレス, ペンダント, プレ<br>スレット等)の種類と特徴 | 80      |
| 3, 機械及び電気         | 機械一般, 宝飾機器の種類と構造及び用途  | 40      |
| 4, 宝飾デザイン         | デザイン基本, デザイン基本と要素   | 120     |
| 5, 安全衛生           | 安全作業法, 安全管理, 安全作業手順, 事故災害防止法,<br>手工具の安全な取扱方と方法, 機器と材料等の取扱い方               | 40      |
| II 実践訓練           |   | 1,280   |
| 1 器工具使用法          | 器工具使用法と工具   | 40      |
| 2 機械操作基本<br>実習    | 機械操作法   | 40      |
| 3 デザイン実習          | 形状, 色彩の表現方法 透視図の書き方   | 120     |
| 4 材料の取扱方法         | 宝石, 貴金属, 金属の取扱方法  | 40      |
| 5 金属加工作業          |   | 580     |
| 1) 合金作業           | 一定水準に必要な金属配合の算出法  |         |
| 2) 板金作業           | 溶解, 半溶解金属作業工程, 鋳造作業, プレス作業, 切断作業<br>成形, 再生作業                              |         |
| 3) 圧延作業           | 圧延作業, 異種成形作成作業  |         |
| 4) ろう付作業と<br>組立作業 | ろう付けによる仕上げ部品の組み付け作業   |         |
| 5) 成形作業と<br>仕上作業  | 余分なろう付けの除去作業, 余分な金属の除去作業<br>ヤスリ目の除去作業                                     |         |
| 6 石留め作業           | 宝飾の手作業による石留め作業,<br>石留め作業工程用の工具成形作業  | 160     |
| 7 彫金作業            | 各種彫金手工具の使用法, 成形作業<br>ハンマー作業とグラインダー作業                                      | 140     |
| 8 仕上作業とメッ<br>キ作業  | 研磨材による磨き作業<br>宝飾表面処理作業  | 120     |
| 9 安全衛生作業          | 応急手当, 職場における安全衛生実習<br>清掃・整理, 工具, 機器工具材料等の安全使用法,                           | 40      |

訓練コース：就職準備訓練

訓練科：製陶

訓練期間：8時間／1日 40時間／1週 640時間／4ヶ月

訓練定員：16名

訓練目標：陶磁器製造に係わる材料の準備、成形作業、施釉、焼成、釉薬配合の準備と応用、窯の取り扱い及び材料の調整について、基本的な技能及び知識習得し、並びに製造にともなう諸問題に対処できる技能を有すること。

| 科目               | 要目  | 訓練時間  |
|------------------|---|-------|
| 1 学 科            |   | 1 1 6 |
| ①材料              | 材料の特性と種類、窯業用原料、原料処理と配合  | 1 6   |
| ②デザインと色彩         | デザイン概論<br>色彩概論  | 1 6   |
| ③石膏と石膏型          | 石膏の用途及び使用法<br>使用型の成型法   | 1 6   |
| ④成形作業法           | 陶磁器の成型法   | 1 6   |
| ⑤釉薬と施釉           | 釉薬の配合と算定、装飾と絵付け法  | 1 6   |
| ⑥焼成法             | 窯の取り扱い、製品検査法（素焼き品、装飾品）  | 1 6   |
| ⑦安全衛生            | 安全衛生作業、安全衛生管理、安全処理、事故防止   | 2 0   |
| 2 実 技            |   | 5 2 4 |
| ①デザイン基本実習        | 陶磁器のデザイン<br>平面構成、立体構成<br>製品の企画と試作   | 4 0   |
| ②手造り成形作業         | 粘土の準備、道具の使い方<br>円筒形、円形の製作（花瓶、ランプスタンド、カップ、マグ）<br>掘り起こし成形   | 1 1 0 |
| ③ろくろ成形作業         | 縁取り作業、土練り作業、成形作業、仕上げ作業<br>乾燥の仕方   | 1 1 2 |
| ④原型製作、<br>鋳込成形作業 | 型取りの仕方（内型、外型、割型）<br>1つの型、2つの型、その他複数の型による鋳込み作業、<br>材料の測定、泥しよりの調合作業、ポット及び細工物の石膏型<br>鋳込み成形作業、仕上げ作業 | 1 1 2 |
| ⑤装飾作業            | 釉薬の配合と調整、施釉作業<br>装飾作業（象嵌、彫刻、練り込み、釉薬の下塗り、上塗り、<br>転写絵、光沢材）  | 8 0   |
| ⑥焼成作業            | 窯詰め仕方、焼成作業（素焼き、装飾焼き）<br>高温の測定、窯だし作業、焼成品の検査  | 7 2   |
| ⑦安全衛生            | 応急手当の方法<br>実習場における安全衛生の進め方  | 1 0   |

訓練コース：就職準備訓練

訓練分野：服飾

訓練期間：8時間/1日 40時間/1週 640時間/4ヶ月

訓練定員：10名

訓練目標：婦人子供服等の基本的な体型の製図、裁断、縫製、仮縫い及び補正ができ、職業訓練指導員の指示のもとで、各体型にあった婦人子供服のデザイン、製図、裁断、縫製、仮縫い及び補正ができる程度の技能及び関連知識について訓練し、職業人としての自覚を得させる。

| 科目                       | 要目  | 訓練時間 |
|--------------------------|---|------|
| 1 学科                     |   | 180  |
| ① 被服大意                   | 被服の歴史、被服の目的<br>被服の製作、被服の着装、布地                       | 10   |
| ② 被服科学                   | 被服材料、被服管理、被服衛生                                      | 20   |
| ③ 製図                     | 製図一般 基礎製図<br>子供服婦人服等の設計                             | 30   |
| ④ 型紙作成法                  | 採寸法、型紙展開への基礎知識、<br>用布の見積り                           | 40   |
| ⑤ 縫製知識                   | ミシンの種類と特徴<br>縫製用機械器具、仕上げ用器具<br>ミシン縫い、手縫い、裁断法        | 30   |
| ⑥ 服飾手芸                   | 手芸の種類と用途  | 10   |
| ⑦ 刺繍知識                   | 刺繍縫い、針、用具   | 20   |
| ⑧ 安全衛生                   | 安全衛生作業法、安全衛生管理、安全処理<br>事故防止                         | 20   |
| 2 実技                     |   | 460  |
| ① 採寸、<br>パターン仕立て<br>及び裁断 | 採寸作業<br>型紙製作、マーキング、レイアウト、<br>裁断作業                   | 50   |
| ② 機械基本作業                 | 動力用ミシンの取り扱い、特殊ミシンの取り扱い、<br>アイロンの取り扱い方、その他の機械の取り扱い   | 15   |
| ③ 基礎縫い作業                 | ミシン縫い、手縫い   | 40   |
| ④ 部分縫い作業                 | あきの始末、ポケット<br>そで口そで付けの始末<br>えり付けの始末<br>スカート、身ごろ、その他 | 140  |
| ⑤ 用布処理基本<br>作業           | 綿織物と麻織物 絹織物<br>毛織物、化繊織物等の縮じゆう作業                     | 10   |
| ⑥ 仮縫い及び補<br>正基本作業        | 仮縫い作業<br>補正作業                                       | 20   |
| ⑦ 本縫い仕上げ<br>作業           | 各種被服についての本縫い作業<br>仕上げ作業                             | 135  |
| ⑧ 刺繍作業                   | 手芸用具による刺繍作業<br>ミシンによる刺繍作業                           | 40   |
| ⑨ 安全衛生作業                 | 応急処置、安全作業、衛生作業                                      | 10   |

訓練コース：就職準備訓練

訓練分野：工芸

訓練期間： 8時間/1日 40時間/1週 640時間/4ヶ月

訓練定員：16名

訓練目標：

デザイン及びパターン作成、裁断・組付け、仕上げ等の作業を通してぬいぐるみ製造や革製小物製品の製造に必要な知識と技能を習得する。併せて、ぬいぐるみ製造等に係わる職業人としての素養を身につける。

| 科目          | 細目   | 訓練時間 |
|-------------|--|------|
| 1 学科        |  | 120  |
| ①測定作業法      | 基礎採寸作業法、製品別採寸作業法<br>測定器の取り扱い方                          | 20   |
| ②工作法        | 手縫い作業法<br>動力ミシンの取扱法、特殊ミシンの取扱法、職業用ミシンの取扱法、電気裁断機の取扱法     | 40   |
| ③材料選別処理法    | 材料の選抜・保管・材料の特性   | 20   |
| ④デザイン       | 形態の表現技法、色彩   | 20   |
| ⑤安全衛生       | 安全衛生作業法、安全衛生管理、安全処理、事故防止                               | 20   |
| 2 実技        |  | 520  |
| ①デザインと型製作作業 | 部品決め計画作業<br>製図作業<br>パターンカット作業<br>トレース作業<br>部品取りレイアウト作業 | 80   |
| ②裁断及び組付作業   | 裁断作業<br>縫製作業<br>付属品組み付け作業<br>綿詰め作業                     | 200  |
| ③革製品製作作業    | 部品決め計画作業<br>製図作業<br>革切断作業<br>穴あけ作業、縫製作業<br>付属品組み付け作業   | 120  |
| ④仕上作業       | 染色作業<br>つや出し作業   | 80   |
| ⑥安全衛生作業     | 救急処置、実習における安全衛生作業、整理整頓                                 | 40   |



添付資料 5-11 既存機関の研究概要

調査研究依頼または協力の可能性のある既存機関のうちいくつかの機関についての研究概要\*

|  | 主な過去5年間の研究実績等  | 資金援助機関   | 研究資金                                       | スタッフ                         |
|--|--|--|--|------------------------------|
| <b>政府機関における調査研究機関</b>                    |  |  |  |                              |
| BYWY<br>(DOLE)<br>調査課                    | 職場における均等促進のための方法<br>女子労働者のための福祉施設の調査<br>女子海外労働者・社会心理的家族へのインパクト<br>女性の労働組合指導者の概要<br>マニラ市内における家庭内児童労働のための公的サービス<br>全国家庭内労働者の労働状況・生活状況の調査 |  |  | 常勤11人                        |
| フィリピン開<br>発 研 究 所<br>(FIDS)              | 加速的な経済成長のための雇用戦略<br>フィリピンの発展と農村における非農業分野の役割<br>ジェンダーの諸問題と農業改革と農村における非農業産業  |  |  | 常勤 研究員<br>(53人、1993<br>年次報告) |
| <b>大学機関所属調査研究機関</b>                      |  |  |  |                              |
| フィリピン大<br>学、労働産業<br>関係研究所<br>(UP.SOLAIR) | 海外雇用プログラム<br>インフォーマル・セクター<br>フレックス雇用の制度<br>NGOの政治社会及び経済的な環境<br>労働組合から見た労働倫理/価値<br>フィリピン企業における労使関係、生産性と企業の競争力                           | ILO  |  | 常勤29名<br>非常勤1名               |
| UP、CWS(フ<br>イリピン大<br>学、女性)研究<br>センター)    | ジェンダー・センスイティビィ・トレーニング<br>フィリピン女性起業家<br>スペイン支配以前のフィリピン女性の地位<br>女性に対する暴力   |  |  |                              |
| SDRC<br>(デラサール<br>大学)                    | ジェンダー分析<br>フィリピン海外就労者<br>USAIDのフィリピン開発訓練プロジェクト評価(民間部門)<br>研究、訓練及びネットワーク化支援<br>家族計画供給用具の使用率と実施地域のニーズ<br>社会福祉省(DSWD)におけるプログラム評価          | USAID<br>UNESCAP 他<br>USAID<br>フォード財団<br>保健省<br>DSWD | 2,168米ドル<br>10万5千米<br>ドル<br>13万ペソ<br>50万ペソ | 常勤 研究員<br>28人                |
| ミンダナオ州<br>立大学女性セ<br>ンター                  | ラオスにおける女性の社会心理的な視点からみた貧困問題<br>民族別にみたムスリム女性の地位<br>マラウイ及びラオスにおける共同組合とNGOの活動調査<br>ムスリム女性海外就労者の地位  | 国合開発基金<br>(シャハニ上院<br>議員等)                            | 50万ペソ                                      | 常勤3人<br>契約職員7<br>人           |
| <b>NGO関連調査研究機関</b>                       |  |  |  |                              |
| <b>・女性関連NGO調査研究機関</b>                    |  |  |  |                              |
| WSAP                                     | 女性研究の組織化<br>ビザヤ及びミンダナオの学校におけるセクハラ問題<br>教師の訓練   | CIDA   |  | 常勤2名<br>ボランティア<br>10名        |
| ISN                                      | メンタル・ヘルスと女性<br>健康と女性労働   | 海外援助組織   |  |                              |
| <b>・社会開発関連NGO調査研究機関</b>                  |  |  |  |                              |
| Caritas、調査<br>評価部                        | 女性の社会的リハビリ・プログラムのトレーニング内容調査<br>活動内容の調査評価   | カトリック関<br>連支援資金                                      |  | 必要時職員                        |
| <b>・経営雇用関連NGO調査研究機関</b>                  |  |  |  |                              |
| フィリピン人<br>材管理協会<br>(PMAP)                | アセアン諸国における人的資源の管理と文化的な価値観<br>海外就労者に関する調査<br>企業ニーズにあわせた非技能分野でのトレーニング開発  | ILO  |  | 調査・広報課<br>常勤3人               |

注)・基本設計調査にもとづく既存機関のうちいくつかの機関概要であり、実際の協力連携可能な機関は、他にも存在し、ここでは全てをフォローしていない。

添付資料 5 - 1 2 食品関連学科を開設している教育機関

| Region | 学科名  | 学校名  |
|--------|--|--|
| R-1    | Food Processing  | Quirino State College  |
| R-4    | Food Trade<br>Food Trade<br>Food Technology<br>Food Trade                        | Lagna Northwestern College<br>Marinduque I.T.<br>Calapan School of Arts and Trades<br>Antipolo Manpower Training C.                |
| R-5    | Food Technician<br>Food Preparation &<br>Home Management                         | Naga College Foundation<br>Cataduanes College  |
| R-6    | Food Technology<br>Food Technology   | Roxas Memorial College of Arts and Trades<br>Capiz I.T.  |
| R-7    | Food Trade   | Lorena National Vocational College   |
| R-8    | Food Technology<br>Food Trade Technology   | Hilongos National Vocational School<br>Sanak National Arts and Trades  |
| R-9    | Food Technology<br>Food Preparation/Process                                      | Hadji Buto School of Arts & Trades<br>NMYC Ro-IX   |
| R-11   | Food Processing<br>Fish Processing<br>Food & Beverage<br>Servicing<br>Food Trade | Bula National School of Fisheries<br>Bula National School of Fisheries<br>Davao National School<br>Cagwait School of Arts & Trades |
| R-12   | Food Trade   | Lanso National College of Arts & Trades  |
| CAR    | Food Technology<br>Food Technology   | Abra State I.S.T.<br>University of Philippines   |

添付資料 5-13 本センター設立による受益者数 (概算)

(1) 女性職業訓練センター (一次受益者)

年間受講者数総数 1,440名/年

(2) 二次受益者概算

i) 指導員養成コース

基礎技能訓練コースを年に3回訓練を受け持つと仮定。

$72 \text{人} \times 60\% \times 15 \text{人/クラス} \times 3 \text{回/年} = 1,944 \text{名/年}$

残り40%が企業の監督となり指導すると仮定。部下10名。

$72 \text{人} \times 40\% \times 10 \text{名} = 288 \text{名/年}$

ii) 非技能訓練コース

年間600名の受講者があり、その人々がNGOや企業で月1回15名を対象に講義をしたと仮定。

$600 \text{名} \times 15 \text{名} \times 12 \text{回/年} = 108,000 \text{名/年}$

iii) 訓練技法訓練コース

年間144名が指導員としての有資格者となり、その内70%がTESDA 輩下の訓練校にて指導者として活動すると仮定。

$144 \text{名} \times 70\% \times 15 \text{名} \times 6 \text{回/年} = 9,072 \text{名/年}$

一次受益者 (訓練所終了者) .....1,440名/年

二次受益者.....119,304名/年

合計.....120,744名/年

改め 120,000名/年

添付資料 5-14 比国側負担費用 (概算)

(1) 敷地整備費用 20,000 ペソ

センター棟敷地面積 8,100 m<sup>2</sup>

宿泊棟敷地面積 2,100 m<sup>2</sup>

敷地の現状は、ほぼ平坦であり、特に大きな障害物も無いため、整備費用として2ペソ/m<sup>2</sup>として計算を行った。

(2) 敷地周辺道路建設及び植採費用 5,700,000 ペソセンター

棟および宿泊棟敷地外周の道路面積 1,140 m<sup>2</sup>

道路建設および植採費用 5,000 ペソ/m<sup>2</sup>

(3) インフラ接続負担金

1) 電力 164,000 ペソ

一カ月分の電力料金が電力引き込み負担金となる。このため各棟の引き込み負担金は次のようになる。

センター棟月額電気料金 (概算) 115,000 ペソ/月

宿泊棟月額電気料金 (概算) 49,000 ペソ/月

2) 電話 65,000 ペソ

商業用電話回線の引き込み費用は1回線当たり6,500ペソとなっているため、各棟の引き込み負担金は次のようになる。

センター棟 10回線 65,000 ペソ

宿泊棟 TESDA 本館棟の電話交換機からの分岐のため負担金は掛からない。

3) 深井戸 450,000 ペソ

深井戸掘削および配管費用として、450,000 ペソを計上。

(4) 一般家具および備品 1,200,000 ペソ

一般家具（机、椅子、ロッカー、キャビネット等）費用として一人当たり8,000 ペソを見込む。

|                |              |
|----------------|--------------|
| センター棟スタッフ総数    | 68名          |
| 専門家            | 5名           |
| NGO 他          | 7名           |
|                | 80名          |
| 8,000 ペソ x 80名 | = 640,000 ペソ |

備品（カーテン、ブラインド等） 560,000 ペソ

(5) 銀行取り決め費用 750,000 ペソ

無償資金援助費用の約0.1%が銀行取り決め費用となっており、一期、二期のそれぞれの援助金額（概算）から算出。

|      |            |
|------|------------|
| 一期工事 | 650,000 ペソ |
| 二期工事 | 100,000 ペソ |

(6) 建築確認申請費用 119,000 ペソ

|       |           |
|-------|-----------|
| センター棟 | 95,000 ペソ |
| 宿泊棟   | 24,000 ペソ |

(7) 関税費用 344,000 ペソ

|      |  |
|------|--|
| 一期工事 | $1,105 \text{ m}^2 \text{ FT} \times 9.2 \text{ US\$} \times 104.0 \text{ ¥} \div 3.96 \text{ y/p} = 267,000 \text{ ペソ}$ |
| 二期工事 | $317 \text{ m}^2 \text{ FT} \times 9.2 \text{ US\$} \times 104.0 \text{ ¥} \div 3.96 \text{ y/p} = 77,000 \text{ ペソ}$    |

(8) 1997年度用スタッフ給料 7,500,000 ペソ

TESDAでは施設竣工引き渡しの一年前から、本センターの運営スタッフを採用する計画であり、それらのスタッフの人的費を負担する必要があるため、1997年度として7,500,000 ペソの人的費を計上する。

表：比国側負担費用一覧

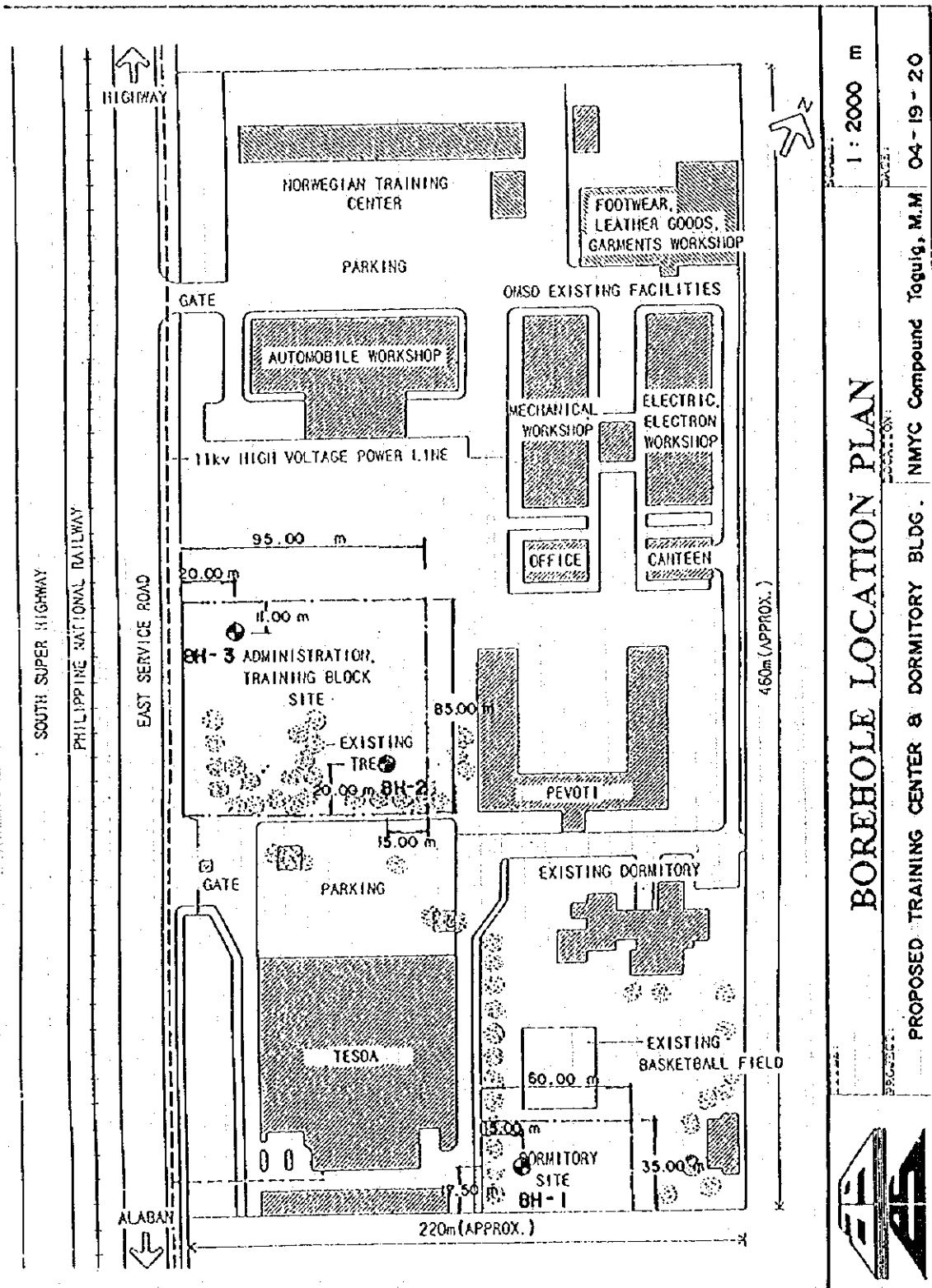
単位：ペソ

|                 | 1996    | 1997      | 1998      | 合計         |
|-----------------|---------|-----------|-----------|------------|
| (1)敷地整備費        | 20,000  | -         | -         | 20,000     |
| (2)道路建設、植栽      | -       | -         | 5,700,000 | 5,700,000  |
| (3)引き込み費用 電気    | -       | 164,000   | -         | 164,000    |
| 電話              | -       | 65,000    | -         | 65,000     |
| 深井戸             | -       | 450,000   | -         | 450,000    |
| (4)一般家具及び備品     | -       | -         | 1,200,000 | 1,200,000  |
| (5)銀行取り決め費用     | 650,000 | 100,000   | -         | 75,000     |
| (6)建築確認費用       | 95,000  | 24,000    | -         | 119,000    |
| (7)関税費用         | -       | 267,000   | 77,000    | 344,000    |
| (8)人件費 (1997年度) | -       | 7,500,000 | -         | 7,500,000  |
| 合計              | 765,000 | 8,570,000 | 6,977,000 | 16,312,000 |

## 6. 参考資料リスト

6. 参考資料リスト

添付資料 6-1 ボーリングデータ



1 : 2000 m  
 PROPOSED TRAINING CENTER & DORMITORY BLDG. NMYC Compound Taguig, M.M. 04-19-20





# BOREHOLE LOG

**BORING NO.:** BH - 1  
**FINAL DEPTH:** 10.00 m.  
**GWT:** 3.40 m.  
**DATE STARTED:** April 09, 1996  
**DATE FINISHED:** April 09, 1996  
**SHEET NO. 1 of 1**



A G E S

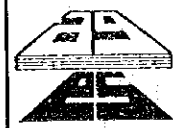
**PROJECT:** PROPOSED DORMITORY  
**LOCATION:** NMYC Com. East Service Rd. Taguig

| DEPTH (m) | SAMPLE DESCRIPTION   | SAMPLE NO. | CONSISTENCY | USCS | WATER CONTENT |    |     | P.I. | OTHER TEST RESULTS |
|-----------|--|------------|-------------|------|---------------|----|-----|------|--------------------|
|           |  |            |             |      | REG. RATIO    | PL | NMC |      |                    |
| 1         | (1.0-1.45 m) Grayish brown sandy-silty CLAY, medium plastic, traces of fine gravel. (Rec: 45/45 cm)                    | ss-1       | Soft        | CL-O | 3             | 1  | 1   | 21   |                    |
| 2         | (2.0-2.45m) Grayish brown CLAY, medium plastic, little amount of fine sand and traces of decayed wood. (Rec: 45/45 cm) | uds-1      |             | CH   |               |    |     | 27   | Pc = 0.90          |
|           | (2.45-2.95 m) Gray CLAY, high plastic, some fine sand and traces of fine gravel. (Rec: 45/45 cm)                       | ss-2       | Med. stiff  | CH   | 5             | 1  | 1   | 34   |                    |
| 3         | 3.00-3.45 m) - same - (Rec: 45/35 cm)  | ss-3       | Med. stiff  | CH   | 6             | 1  | 1   | 40   |                    |
| 4         | (4.00-4.45 m) Brown sandy SILT, slightly plastic, traces of fine gravel. (Rec: 45/45 cm)                               | ss-4       | Hard        | ML   | 33            | 1  | 1   | 14   |                    |
| 5         | (5.00-5.450 m) Brown elastic SILT, medium plastic, some of fine sand. (Rec: 45/40 cm)                                  | ss-5       | Hard        | MH   | 32            | 1  | 1   | 25   |                    |
| 6         | (6.50-6.95 m) Brown sandy elastic SILT, slightly plastic. (Rec: 45/45 cm)  | ss-6       | Very stiff  | MH   | 29            | 1  | 1   | 14   |                    |
| 8         | (8.00-8.45 m) Light brown silty SAND, little amount of fine sand. (Rec: 45/45 cm)                                      | ss-7       | Dense       | SM   | 47            | 1  | 1   |      |                    |
| 10        | (9.55-10.00 m) Light brown sandy SILT, traces of fine gravel. (Rec: 45/40 cm)  | ss-8       | Dense       | ML   | 36            | 1  | 1   |      |                    |

End of Borehole @ 10.00 m

# BOREHOLE LOG

**BORING NO.:** BH - 2  
**FINAL DEPTH:** 10.00 m.  
**GWT:** 2.80 m.  
**DATE STARTED:** April 10, 1996  
**DATE FINISHED:** April 10, 1996  
**SHEET NO. 1 of 1**



**A G E S**

**PROJECT :** PROPOSED TRAINING CENTER  
**LOCATION :** NMYC Com. East Service Rd. Taguig

| DEPTH (m) | SAMPLE DESCRIPTION   | SAMPLE NO. | CONSISTENCY | USCS  | WATER CONTENT |     |    | P.I. | OTHER TEST RESULTS  |
|-----------|--|------------|-------------|-------|---------------|-----|----|------|---|
|           |  |            |             |       | PL            | NMC | LL |      |   |
| 1         | (1.00-1.45 m) Brown completely weathered fine-grained SANDSTONE. (Rec: 30/30 cm) (degraded into SAND).           | ss-1       | Very        | SP-SM | 50/15 cm      |     |    |      | qu<br>(kg/cm <sup>2</sup> )<br><br>7.51<br><br>1.74<br><br>1.89 |
| 2         | (2.00-2.10m) - same - (Rec: 10/10 cm)  | ss-2       | Very dense  | SP-SM | 50/10 cm      |     |    |      |   |
| 3         | (2.10-3.00m) Grayish brown moderately weathered fine-grained SANDSTONE, moderately cemented. (Rec: 90/75/48 cm)  | cs-1       |             |       |               |     |    |      |   |
|           | (3.00-3.50 m) - No Recovery -  | cs-2       |             |       |               |     |    |      |   |
| 4         | (3.50-4.00m) Grayish brown to brown highly weathered fine-grained SANDSTONE, weakly cemented. (Rec: 50/25/0 cm)  | cs-3       |             |       |               |     |    |      |   |
|           | (4.00-4.50 m) Brown highly weathered SHALE/SILTSTONE, weakly cemented (Rec: 100/70/25                            | cs-4       |             |       |               |     |    |      |   |
| 5         | (5.00-6.00 m) Brown moderately fine-grained tuffaceous SANDSTONE, moderately cemented. (Rec: 100/90/18 cm)       | cs-5       |             |       |               |     |    |      |   |
| 6         | (6.00-7.00 m) Brown moderately weathered SILTSTONE, moderately cemented. (Rec: 100/100/20 cm)                    | cs-6       |             |       |               |     |    |      |   |
| 7         | (7.00-8.00 m) - same - (Rec: 100/70/20 cm)   | cs-7       |             |       |               |     |    |      |   |
| 8         | (8.00-9.00 m) Brown moderately to slightly weathered TUFF, strongly to moderately cemented. (Rec: 100/100/57 cm) | cs-8       |             |       |               |     |    |      |   |
| 9         | (9.00-10.00m) - No Recovery -  | cs-9       |             |       |               |     |    |      |   |
| 10        | End of Borehole @ 10.00 m  |            |             |       |               |     |    |      |   |

# BOREHOLE LOG

**BORING NO.:** BH - 3  
**FINAL DEPTH:** 10.00 m.  
**GWT:** 3.10 m.

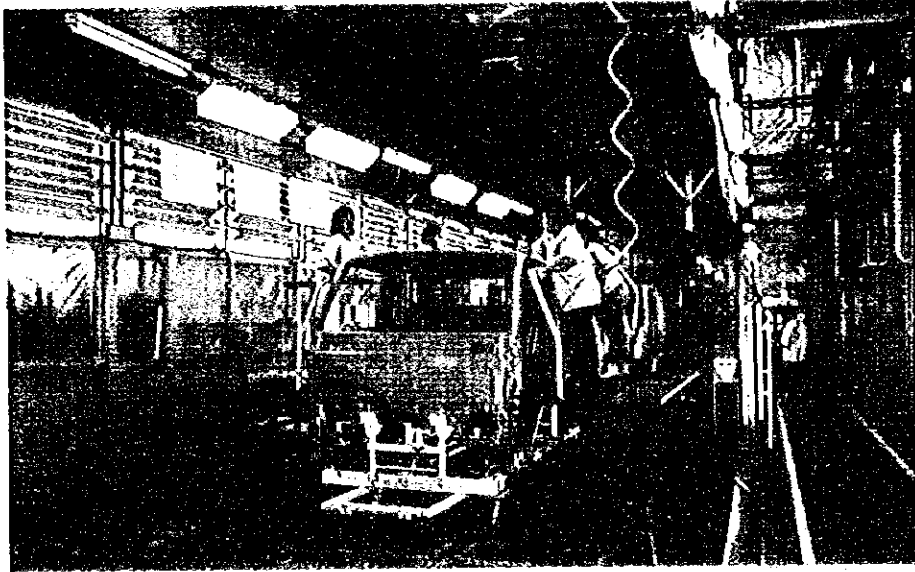


A G E S

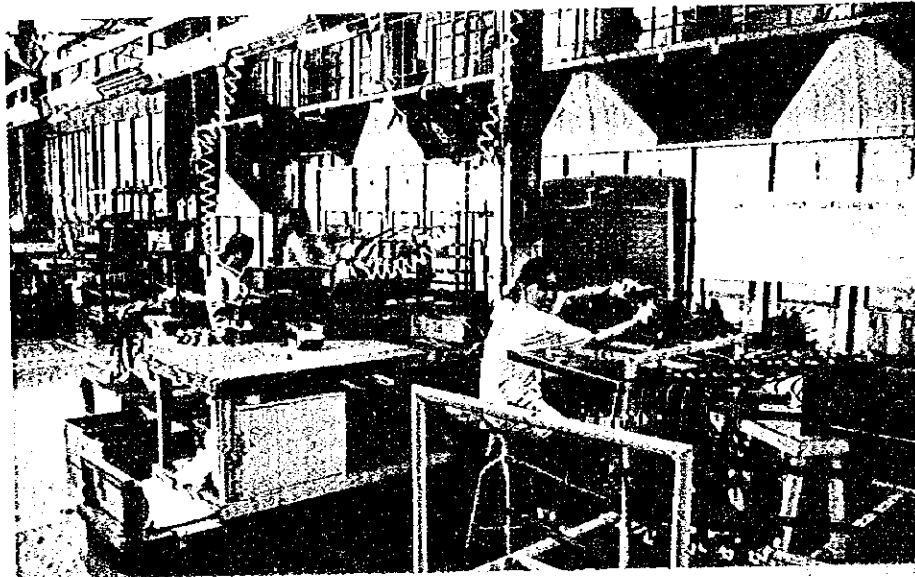
**PROJECT :** PROPOSED TRAINING CENTER  
**LOCATION :** NMYC Com. East Service Rd. Taguig

**DATE STARTED:** April 11, 1996  
**DATE FINISHED:** April 11, 1996  
**SHEET NO. 1 of 1**

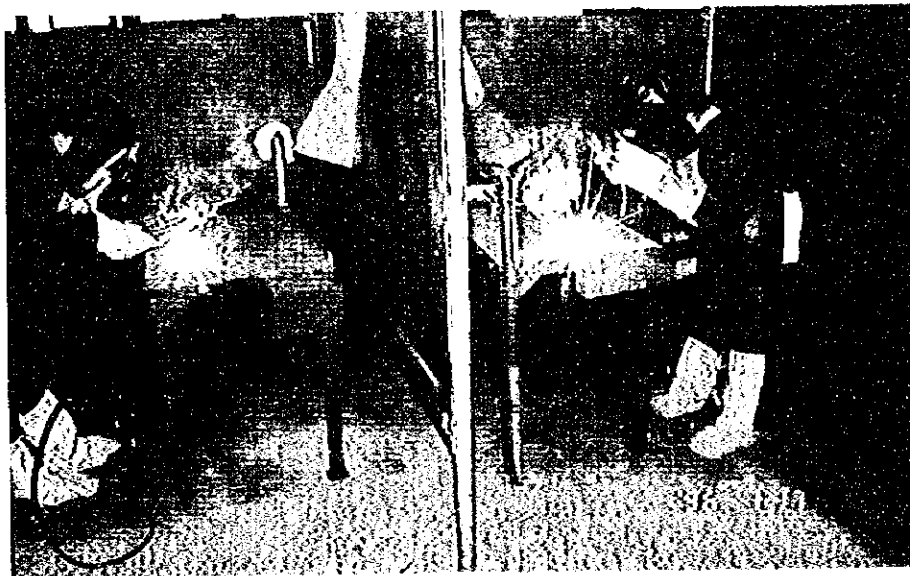
| DEPTH (m) | SAMPLE DESCRIPTION   | SAMPLE NO. | CONSISTENCY | USCS  | WATER CONTENT |    |     | P.I. | OTHER TEST RESULTS       |
|-----------|--|------------|-------------|-------|---------------|----|-----|------|--------------------------|
|           |  |            |             |       | REC RATIO     | PL | NMC |      |                          |
| 1         | (1.00-1.15 m) Brown completely weathered fine-grained SANDSTONE. (Rec: 30/30 cm) (degraded into SAND and SILT).                | ss-1       | Very        | SM-ML | 52/15 cm.     |    |     |      | qu (kg/cm <sup>2</sup> ) |
| 2         | (2.00-2.15m) - same - (Rec: 15/15 cm) (degraded into SAND).  | ss-2       | Very dense  | SM    | 50/15 cm.     |    |     |      |                          |
| 3         | (2.15-3.00m) Grayish brown mod. weathered fine-grained SANDSTONE, moderately to strongly cemented. (Rec: 85/60/45 cm)          | cs-1       |             |       |               |    |     |      | 2.50                     |
| 4         | (3.00-4.00 m) - same - (Rec: 100/100/83 cm)  | cs-2       |             |       |               |    |     |      |                          |
| 5         | (4.00-5.00 m) - same - (Rec: 100/100/25 cm)  | cs-3       |             |       |               |    |     |      | 2.71                     |
| 6         | (5.00-6.00 m) - same - (Rec: 100/86/34 cm)   | cs-4       |             |       |               |    |     |      |                          |
| 7         | (6.00-7.00 m) Brown moderately weathered SILTSTONE, moderately to weakly cemented. (Rec: 100/75/0 cm)                          | cs-5       |             |       |               |    |     |      |                          |
| 8         | (7.00-8.00 m) Brown highly weathered SILTSTONE, weakly cemented. (Rec: 100/40/0 cm)  | cs-6       |             |       |               |    |     |      |                          |
| 9         | (8.00-9.00 m) Brown moderately weathered medium to fine-grained SANDSTONE, moderately cemented. (Rec: 100/70/30 cm)            | cs-7       |             |       |               |    |     |      | 2.06                     |
| 10        | (9.00-10.00m) Brown moderately to highly weathered SILTSTONE, weakly cemented. (Rec: 100/65/0 cm)<br>End of Borehole @ 10.00 m | cs-8       |             |       |               |    |     |      |                          |



女性による車体サンドペーパー掛け (PAMC 三菱系自動車工場にて)



女性による自動車部品組み立て (PAMC 三菱系自動車工場にて)



ミンダナオイリガン工科大学金属加工 (溶接) 実習一女子学生 (MIRDCにて)



1995年度北国技能オリンピック溶接部門優勝者  
(EEI社バタンガス工場にて)



女性溶接工 (EEI社バタンガス工場にて)



女性修理工 (EEI社電気工具修理部門にて)

**NSO**

- (1) Statistics on The Filipino Women, 1992
- (2) Philippine Development Plan for Women 1989-1992

**Technical Education and Skill Development Agency (TESDA), NMYC**

- (1) Training of Women in Non-Traditional Occupation
- (2) National Statistical Coordination Board et al, Women and Men in the Philippines  
A Statistical Handbook
- (3) Impact of Evaluation of the WINT (Women in Non-Traditional Trades) Program, 1994
- (4) The 1993 National Youth Skill Olympics, 1993

**Department of Social Welfare & Development (DSWD)**

- (1) Bureau of Women's Welfare of DSWD, Guidelines in the Operation of the Productivity Skills
- (2) Capability Building for Disadvantaged Women
- (3) Packages of Self-Enhancement of Socially Disadvantaged Women -Leadership and Basic Business Management Skills Development, 1994
- (4) Guidelines for the implementation of the special project for Women in Especially Difficult Circumstances

**National Commission on the Role of Filipino Women (NCRFW)**

- (1) Women's Resource Directory, 2nd Edition
- (2) Philippine Development Plan for Women: 1989-1992, 1990
- (3) The Philippine Plan for Gender Responsive Development 1995-2025, 1995
- (4) Philippine Country Report on Women 1986-1995
- (5) Implementing Rules and Regulations-Republic Act 7192, 1994
- (6) Midterm Report 1992-1995, 1995
- (7) Guidelines for Developing And Implementing Gender-Responsive Projects and Programs, 1993
- (8) Women Overseas Workers

**Women in Development Foundation Inc. & Goodwill Trading Co. Inc.**

- (1) ed. Filipino Women Overseas Contract Worker: At What Cost, 1992

**National Council of Women of Philippines (NCWP)**

- (1) ESCAP et al, Proceedings of the Asian and Pacific Symposium of Non-Governmental Organizations on Women in Development, 1993
- (2) Theme: Women-Vision 2000, 49th Anniversary Celebration and General Assembly, 1995

(3) *Women's Commitments and Actions*, 1995

**Social Development Research Center (SDRC)**

(1) Annual Report of 1993/1994

(2) Trinidad S. Osteria, *Filipino Female Labour Migration to Japan: Economic Cause and Consequences*, De La Salle University Press, 1994

**Bureau of Women and Young Workers, Department of Employment (BWYW/DOLE)**

(1) *Facts & Figures on Women*, 1995

(2) *Ways and Means of Promoting Equality on the Workplace*, 1992

(3) *Comparative Study of Local and International Labour Standards Affecting Women and Young Workers*, 1990

(4) *Constant Analysis of Legislative Proposals on Women and Young Workers (1987-1992)*, 1993

**Philippines Overseas Employment Administration (POEA)**

(1) Annual Report 1994

(2) *Overseas Employment Info Series*, 1994

(3) *Philippines Overseas Employment Administration*, 1994

**International Labour Organization (ILO)**

(1) *Making it Women in Occupations*, 1988

(2) *Diversifying Women's Employment Opportunities Through Training, Guide for Program Implementations*, 1991

(3) *Gender, Poverty and Employment : Turning Capabilities into Entitlements*, 1995

(4) *Project Findings and Recommendations- Diversification of Women's Occupations Through Training (NMYC)*, 1988

**Department of Science and Technology (DOST)**

(1) 1994 DOST Annual Report

(2) *Philippine Council for Industry and Energy Research and Development DOST, Annual Report 1994*

**Department of Agriculture (DA)**

DA, Agricultural Training Institute, *Annual Report '93*

Amadea E. Medina, *The RIC Home Extension Story*, 1984

**Ayala Foundation, Inc.**

**Ayala Foundation, Inc. Socio-Economic Development Programs**  
**Ayala Foundation, Annual Report 1994**

**Mindanao State University, Center for Women Studies (MSU,CWS)**  
**(1) MSU, Marawi Campus, 1994 Annual Report**  
**(2) MSU,CWS, 1994-1995 Accomplishment Report**

**Caritas Manila**  
**(1) Caritas Manila, 1994 Annual Report**

**ISIS International**  
**(1) ISIS International, Remarking the Economy-Some Readings on Women's Economic Perspectives, 1995**











JICA